7章 子どものICT利用

1節 子どものICT端末所有状況

子どもが利用・所有している端末

ポイント

- 自分専用の端末としてのスマートフォン所有率は中学２年生で８割を超える（資料7-1）。
- スマートフォン、キッズケータイとも所有開始が低年齢化傾向（資料7-6）。
- スマートフォン所有理由、小学生・中学生ともに「緊急時の連絡」がトップ、次いで小学生では「いる場所の把握」、中学生では「子どもが欲しいといった」が続く（資料7-7、資料7-8）。

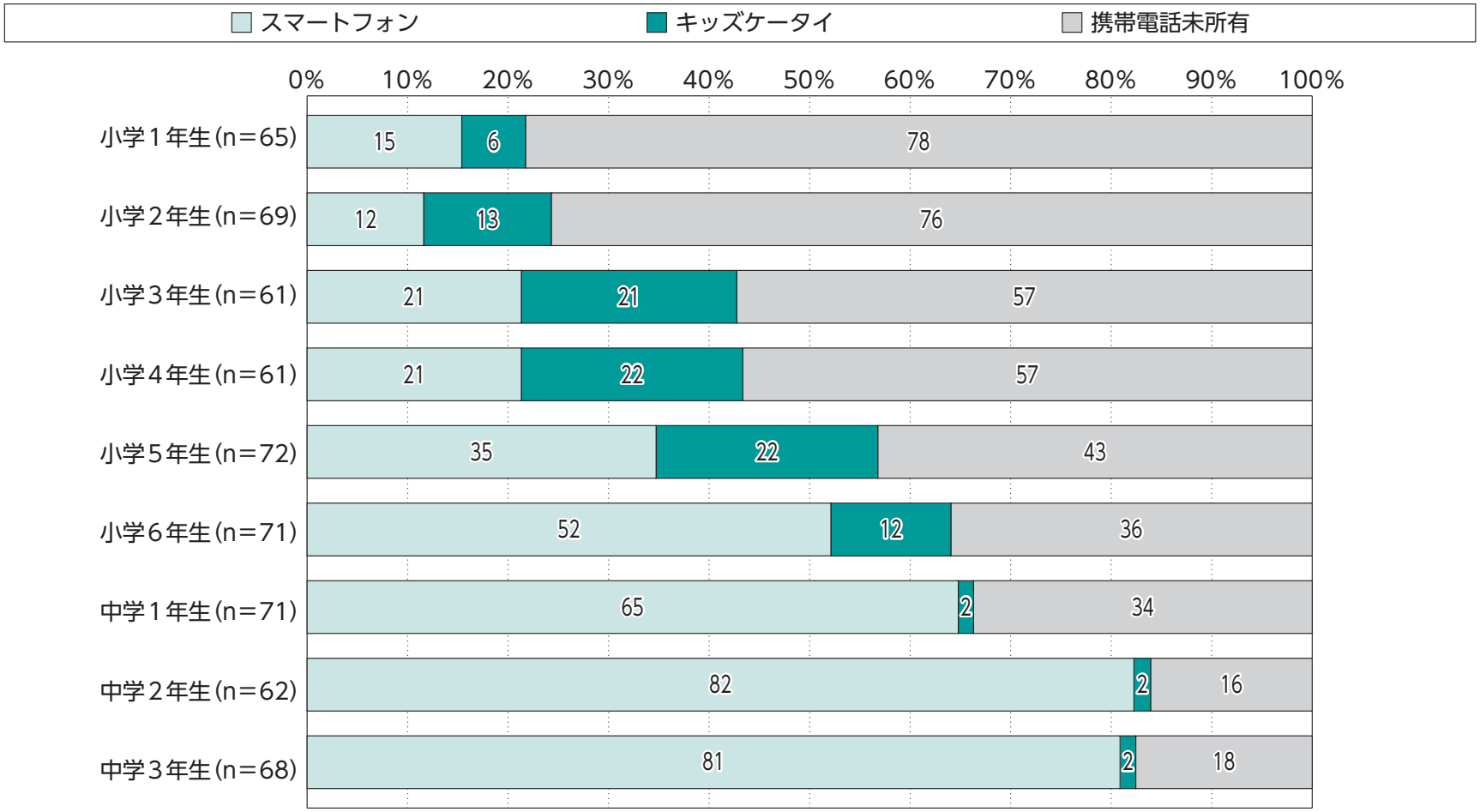
［資料7-1］自分専用の端末として子どもが所有している携帯電話の種類［学年別］……145
［資料7-2］利用している携帯電話の種類［学年別］……146
［資料7-3］利用・所有している端末の種類［学年別］……147
［資料7-4］所有している携帯電話の種類の年次推移［学年別］……148
［資料7-5］利用している携帯電話の種類の年次推移［学年別］……149
［資料7-6］携帯電話の所有開始年齢［性別］……150
［資料7-7］スマートフォン使い始め理由［小学生］［性別］……151
［資料7-8］スマートフォン使い始め理由［中学生］［性別］……152

7章 1節

資料7-1

自分専用の端末として子どもが所有している携帯電話の種類[学年別]

●スマートフォン所有率は中学2、3年では8割を超える。



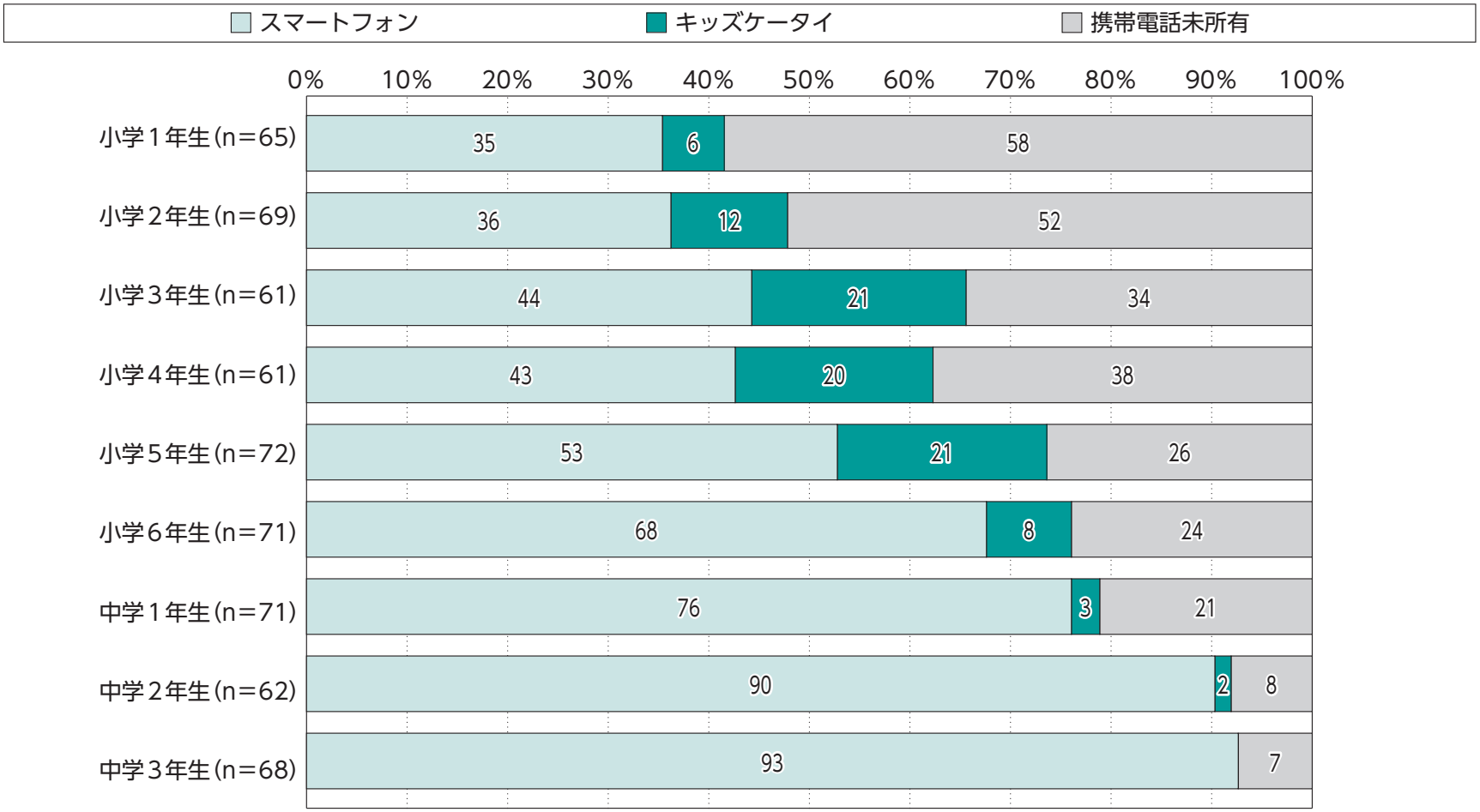
注1：小中学生の保護者が回答。
注2：「スマートフォン」はキッズスマホ、iPhone、Androidスマートフォンを集計。
注3：「キッズケータイ」はフィーチャーフォンを含め集計。
注4：「スマートフォン」と「キッズケータイ」をどちらも所有している場合は、スマートフォン所有として集計。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 1節

資料7-2

利用している携帯電話の種類[学年別]

●スマートフォン利用率は小学5年生で半数を超える。さらに中学2年生では9割を超える。



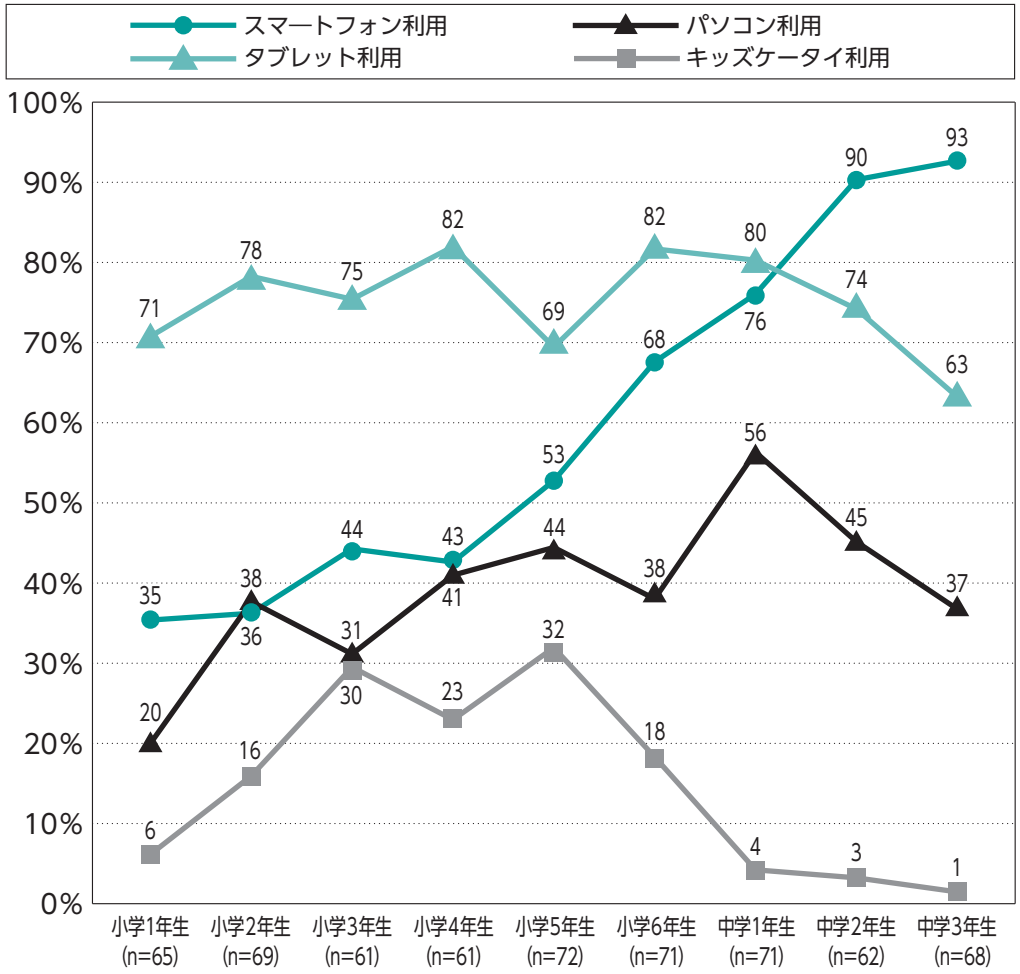
注1：家族などで共有しているものを含め、子どもが利用している機器の有無を小中学生の保護者が回答。
注2：「スマートフォン」はキッズスマホ、iPhone、Androidスマートフォンを集計。
注3：「キッズケータイ」はフィーチャーフォンを含め集計。
注4：「スマートフォン」と「キッズケータイ」をどちらも利用している場合は、スマートフォン利用として集計。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

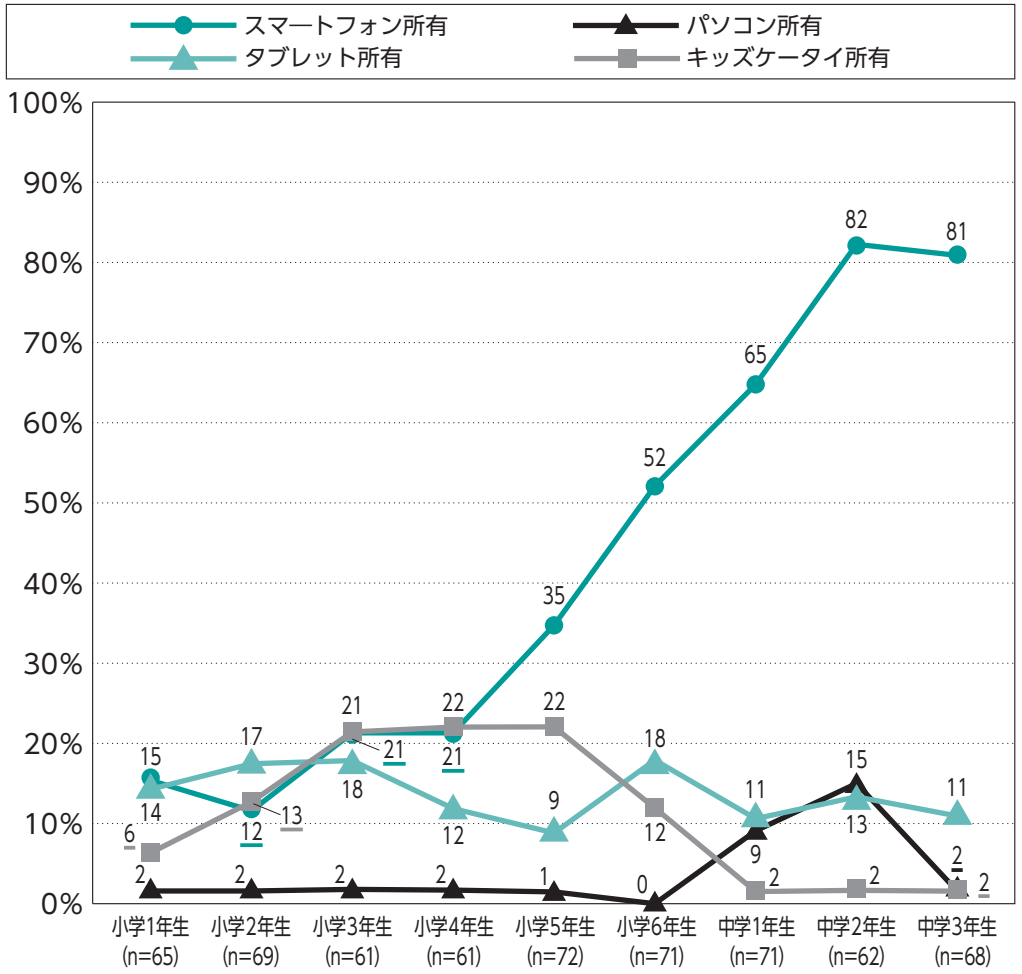
7章 1節

資料7-3

利用・所有している端末の種類[学年別]

●スマートフォン所有率は小学５年生以降、他の機種の所有率を上回る。
●タブレット利用率は中学１年まではすべての学年で最も高く約７～８割が利用しているが、中学２、３年ではスマートフォン利用が逆転。





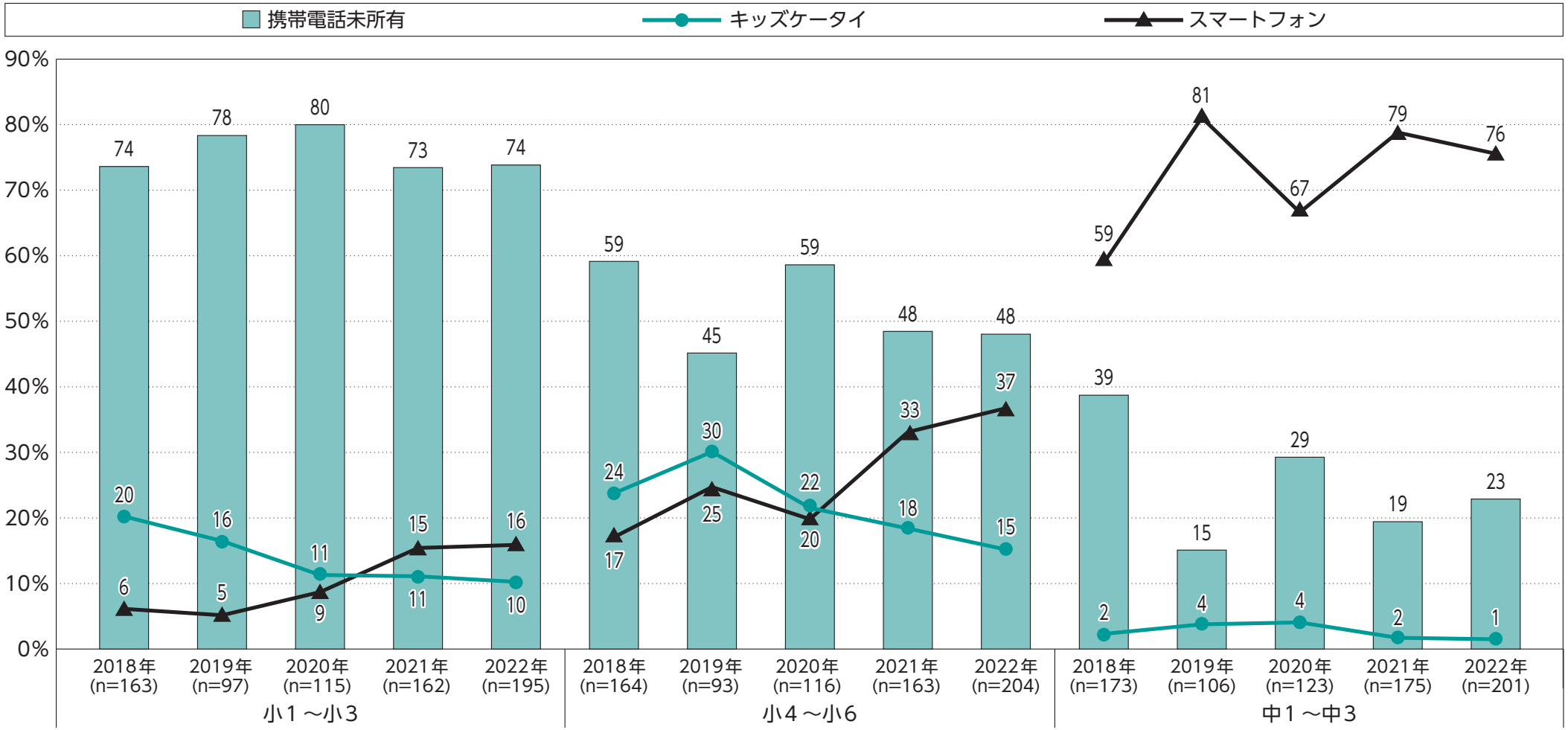
注１：小中学生の保護者が回答。
注２：左図の利用率は家族などで共有しているものを含め、子どもが利用している機器の有無を集計。
注３：右図の所有率は自分専用の端末として子どもが所有している機器の有無を集計。
注４：タブレット、パソコンは学校から貸与されたものを含んで集計。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 1節

資料7-4

所有している携帯電話の種類の年次推移[学年別]

●小学生のスマートフォン所有がキッズケータイ所有を上回り、高学年では約４割。
●中学生の所有率は約８割。



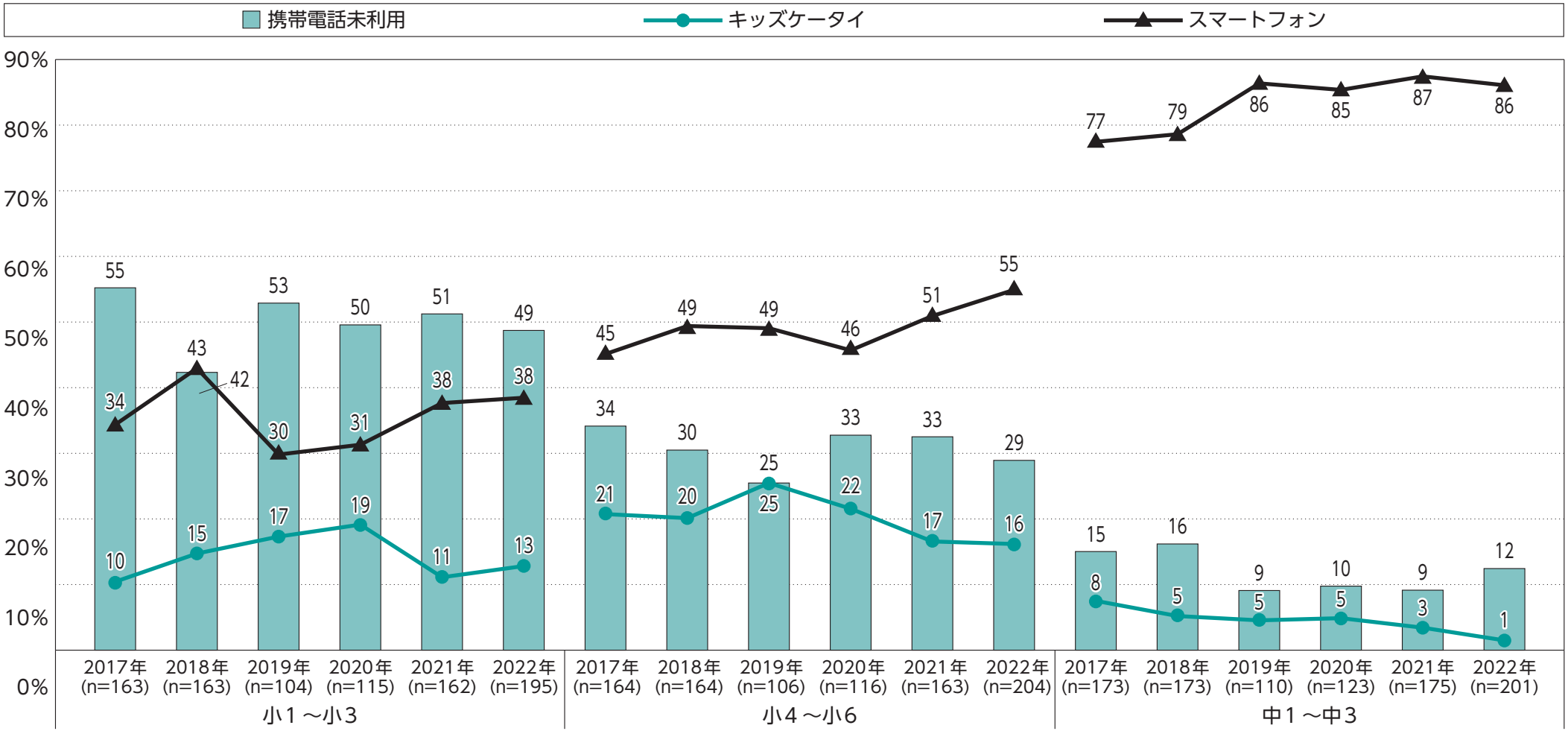
注1：小中学生の子どもを持つ保護者が回答。
注2：子どもが所有している機器の有無を保護者が回答。
注3：「キッズケータイ」はフィーチャーフォンを含め集計。
注4：「スマートフォン」と「キッズケータイ」をどちらも所有している場合は、スマートフォン所有として集計。
出典：2018年子どものケータイ利用に関する調査(訪問留置)、小中学生ICT利用調査2019-2022(訪問留置)

7章 1節

資料7-5

利用している携帯電話の種類の年次推移[学年別]

●小学生のスマートフォン利用率は上昇、中学生は８割を超えて横ばい傾向。



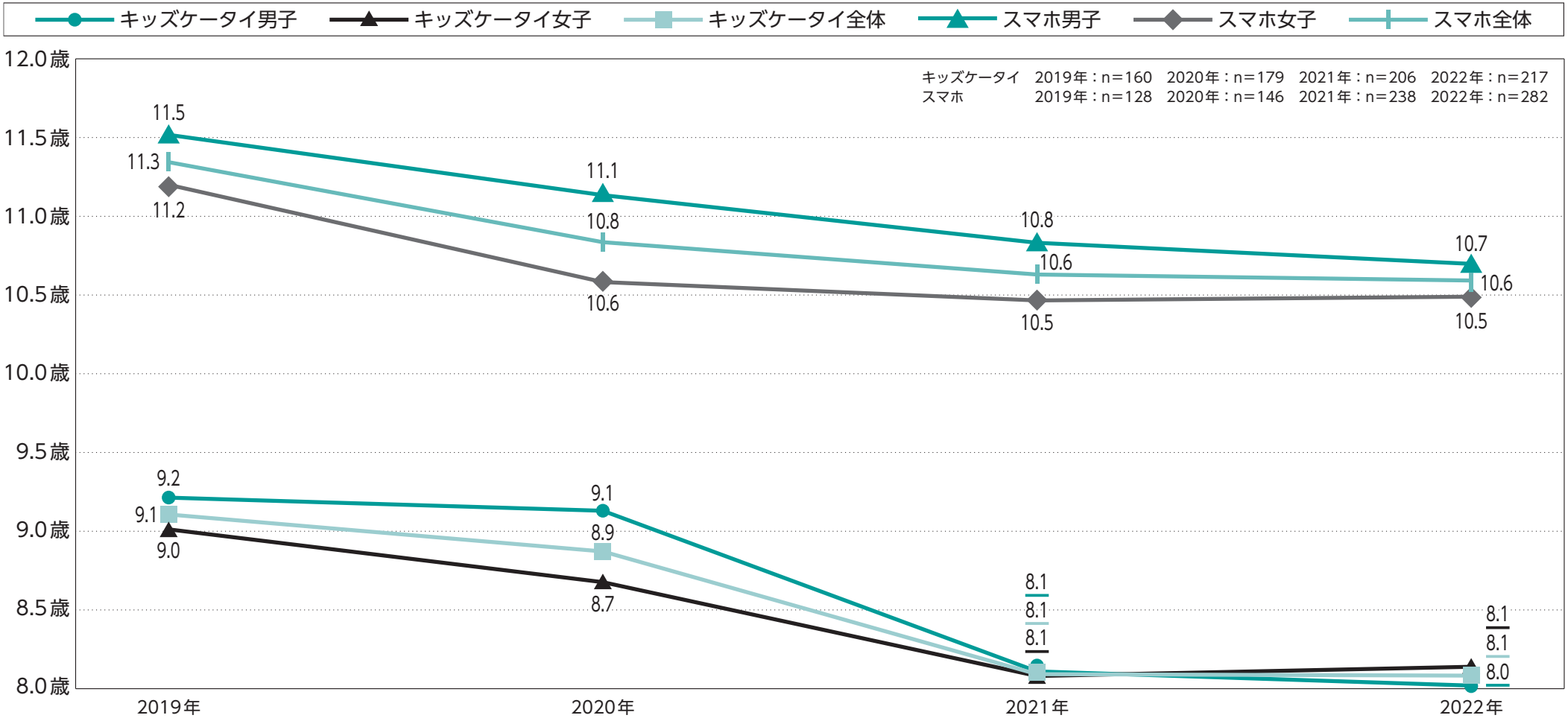
注1：小中学生の子どもを持つ保護者が回答。
注2：家族などで共有しているものを含め、子どもが利用している機器の有無を保護者が回答。
注3：「キッズケータイ」はフィーチャーフォンを含め集計。
注4：「スマートフォン」と「キッズケータイ」をどちらも利用している場合は、スマートフォン利用として集計。
出典：2017年-2018年子どものケータイ利用に関する調査(2017年は訪問面接、2018年は訪問留置)、小中学生ICT利用調査2019-2022(訪問留置)

7章 1節

資料7-6

携帯電話の所有開始年齢[性別]

●スマートフォン、キッズケータイの所有開始年齢は低年齢化。
●スマートフォン、キッズケータイとも男女の開始年齢の差が縮まっている。



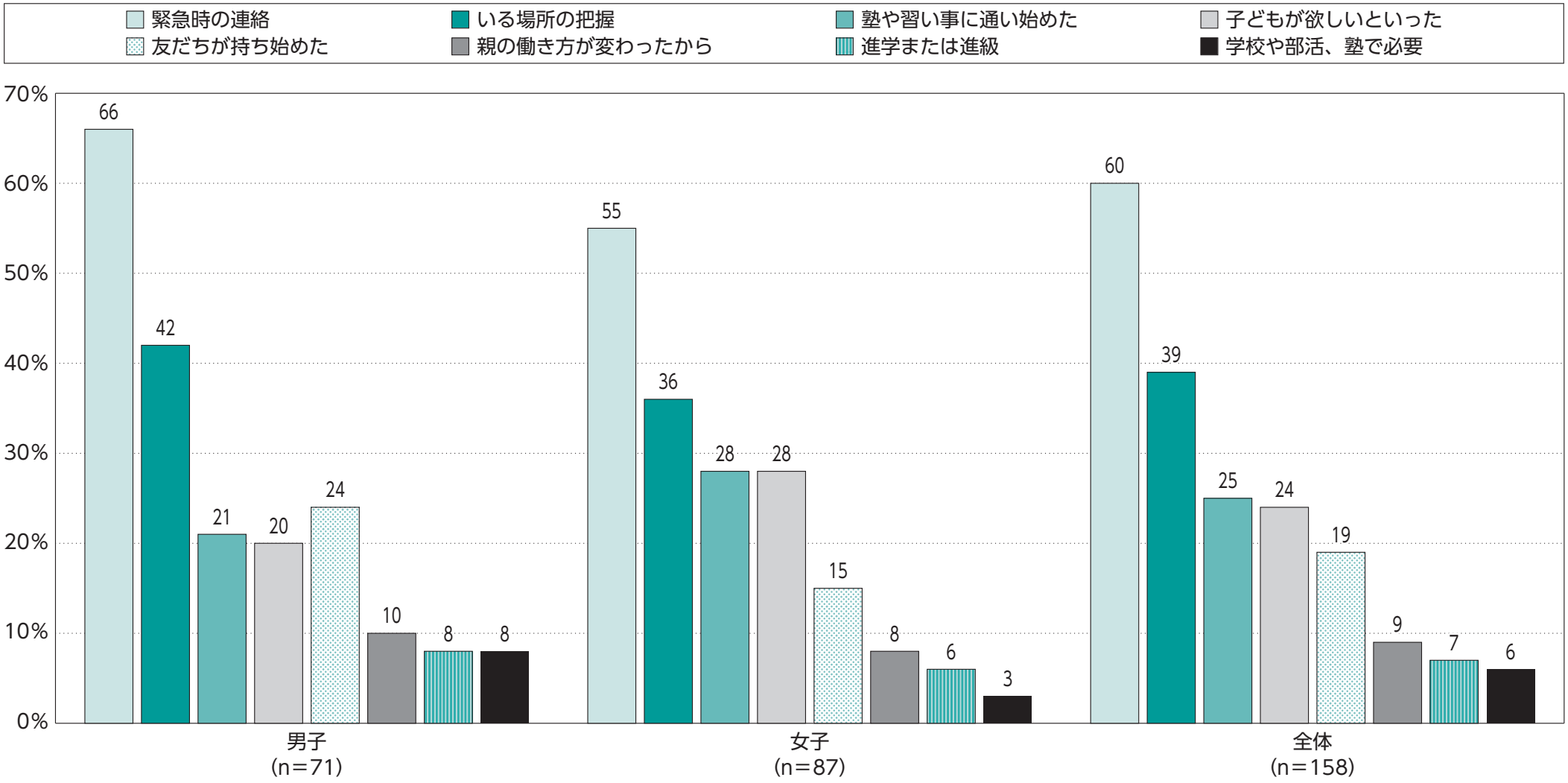
注1：関東の小中学生の子どもを持つ保護者が回答。
注2：子どもが所有している機器の有無を保護者が回答。
注3：「キッズケータイ」はフィーチャーフォンを含め集計。
出典：小中学生ICT利用調査2019-2022（訪問留置）

7章 1節

資料7-7

スマートフォン使い始め理由[小学生][性別]

●「緊急時に子どもと連絡がとれるように」が半数以上。次いで「いる場所の把握」。



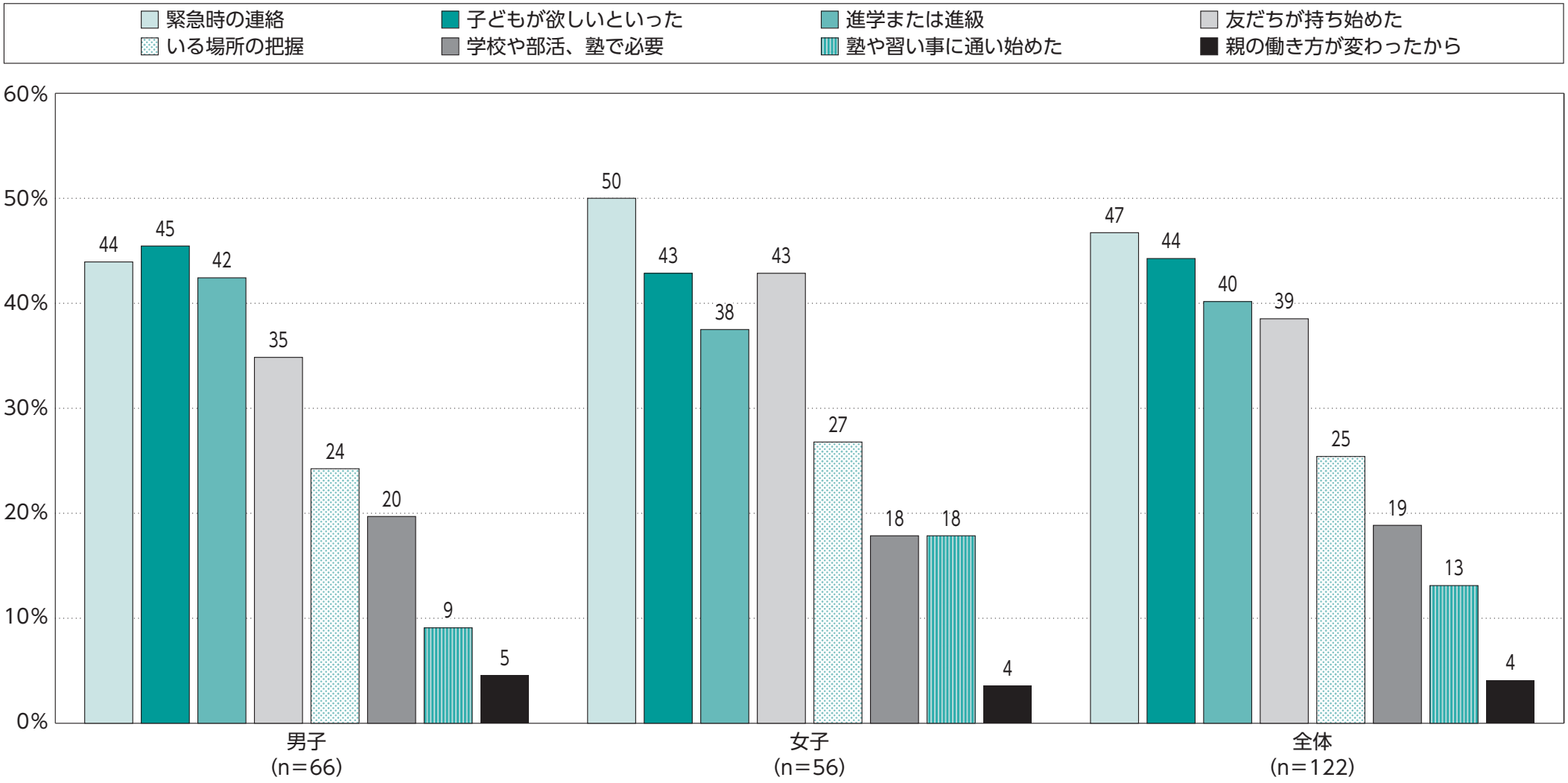
注：スマホを持たせている保護者を集計。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 1節

資料7-8

スマートフォン使い始め理由[中学生][性別]

●男女ともに、「緊急時に子どもと連絡がとれるように」「子どもが欲しいといった」が４割超え。
●男子は「進学または進級」、女子は「友だちが持ち始めた」がそれぞれ４割を超える。



注：スマホを持たせている保護者を集計。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 子どものICT利用

2節 子どものICTサービス利用状況

ICTサービス利用頻度、調べものでのICT利用頻度、文字入力スキル

ポイント

- 毎日YouTubeを利用、小学生は約7割、中学生は約8割（資料7-10）。
- SNSの利用、中学生は約9割。全学年で女子の利用率が高い（資料7-13）。
- 毎日スマートフォンやタブレットでゲームをする子ども、中学生は5割を超える（資料7-16）。
- 疑問に思ったことについてインターネットで調べる子ども、中学生は7割超え（資料7-19）。

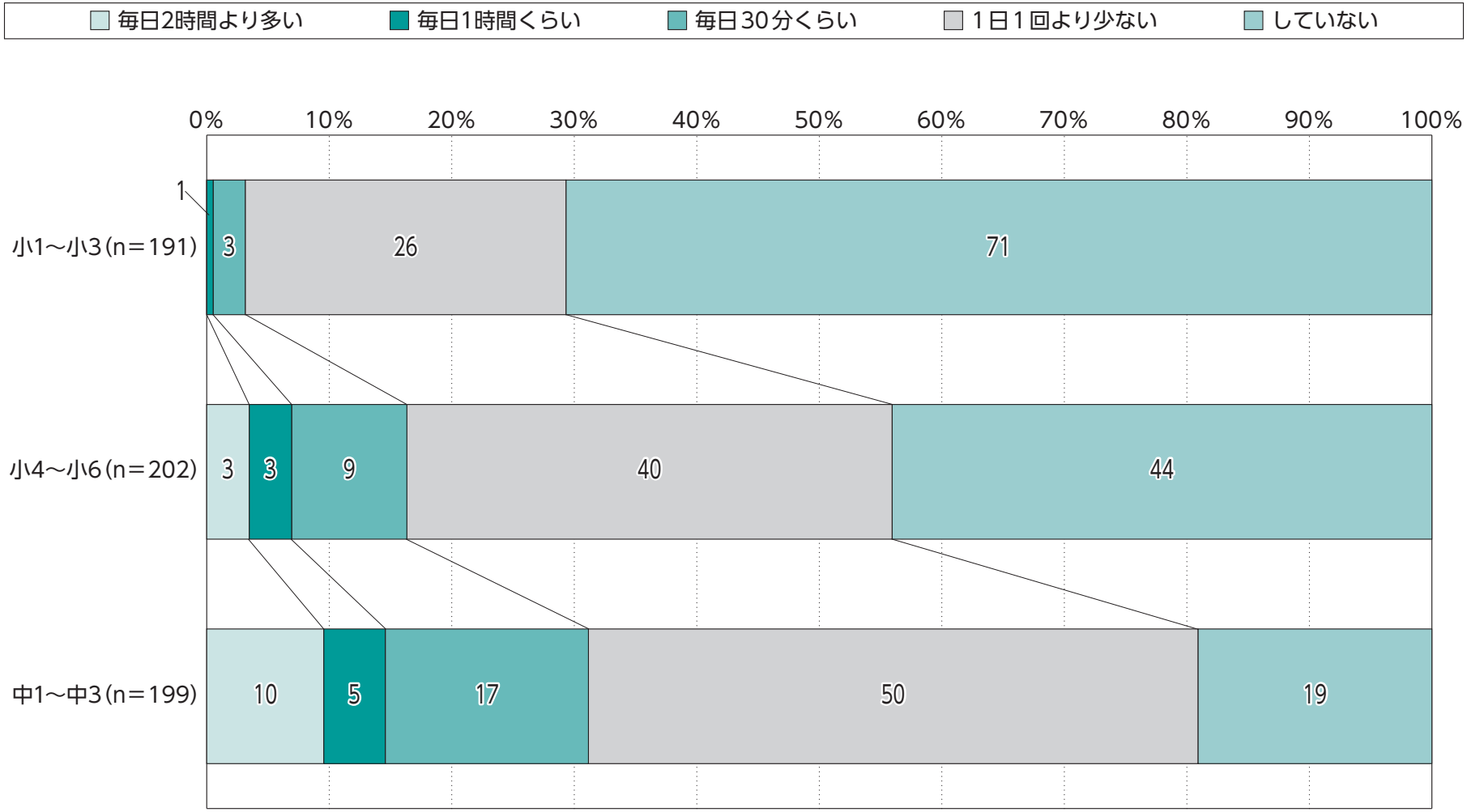
[資料7-9] 通話（LINE通話など通話アプリも合わせた通話時間）の利用頻度[学年別] ……154
[資料7-10] YouTubeの利用頻度[学年別] ……155
[資料7-11] テレビ番組の視聴頻度[学年別] ……156
[資料7-12] ストリーミングサービスの利用頻度[学年別] ……157
[資料7-13] SNSの利用状況[性学年別] ……158
[資料7-14] SNSのサービス別利用状況[性学年別] ……159
[資料7-15] SNSのサービス別利用状況年次変化[学年別] ……160
[資料7-16] スマートフォンやタブレットでのゲームの利用頻度[学年別] ……161
[資料7-17] 専用ゲーム機で遊ぶ時間[学年別] ……162
[資料7-18] 学校や塾の宿題について、インターネットで調べたり動画を見る頻度[学年別] ……163
[資料7-19] 普段の生活で疑問に思ったことについてインターネットで調べたり動画を見る頻度[学年別] ……164
[資料7-20] 子どものICTスキル[学年別] ……165
[資料7-21] インターネット（検索、YouTube、オンラインゲーム、LINEなど）利用終了時間[学年別] ……166

7章 2節

資料7-9

通話（LINE通話など通話アプリも合わせた通話時間）の利用頻度［学年別］

●通話機能を利用する子どもは、学年が上がるに伴い拡大し、中学になると毎日が３割を超える。



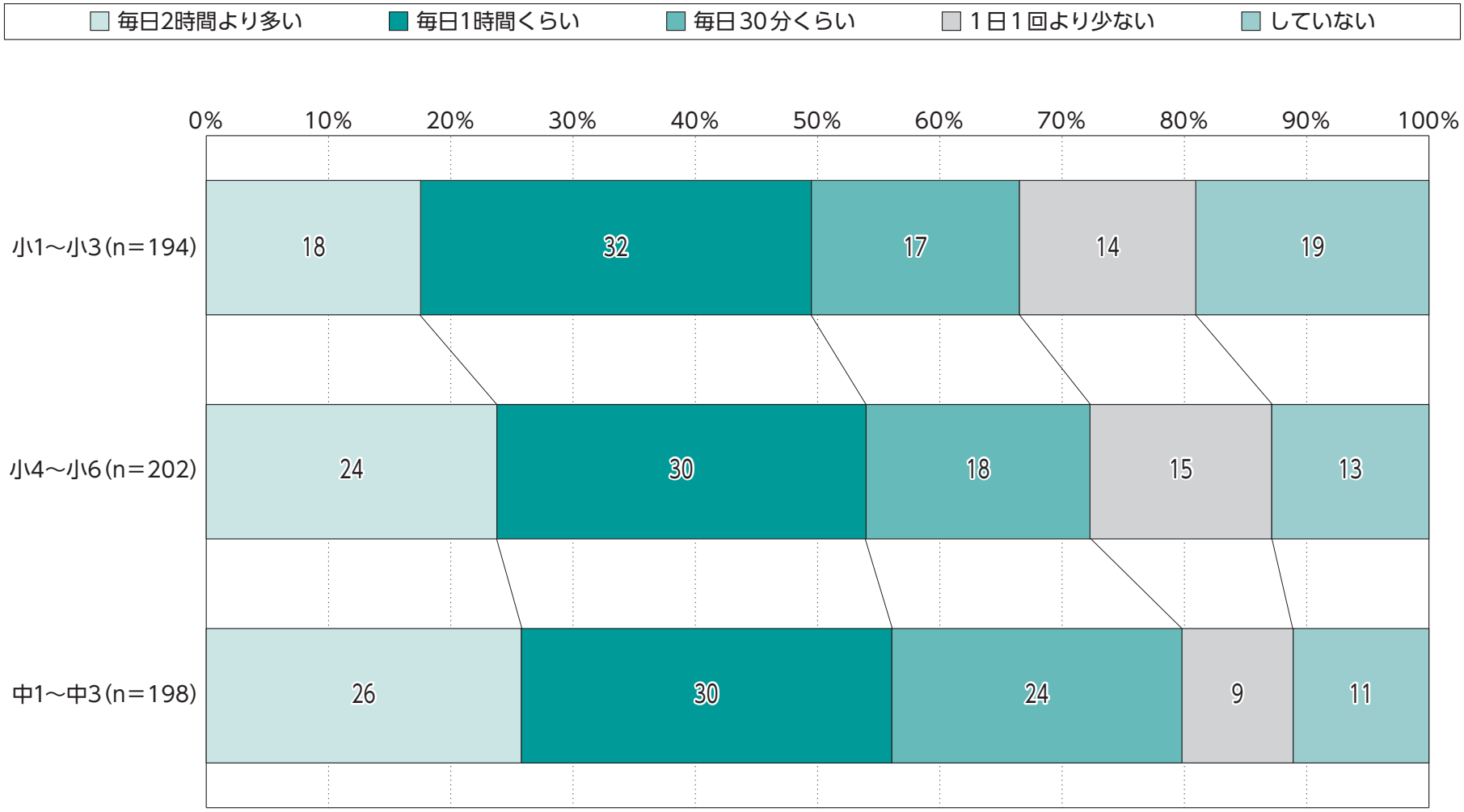
注：小中学生自身が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022（訪問留置）

7章 2節

資料7-10

YouTubeの利用頻度[学年別]

●毎日YouTubeを利用している子どもは、小学生で約7割、中学生で約8割。



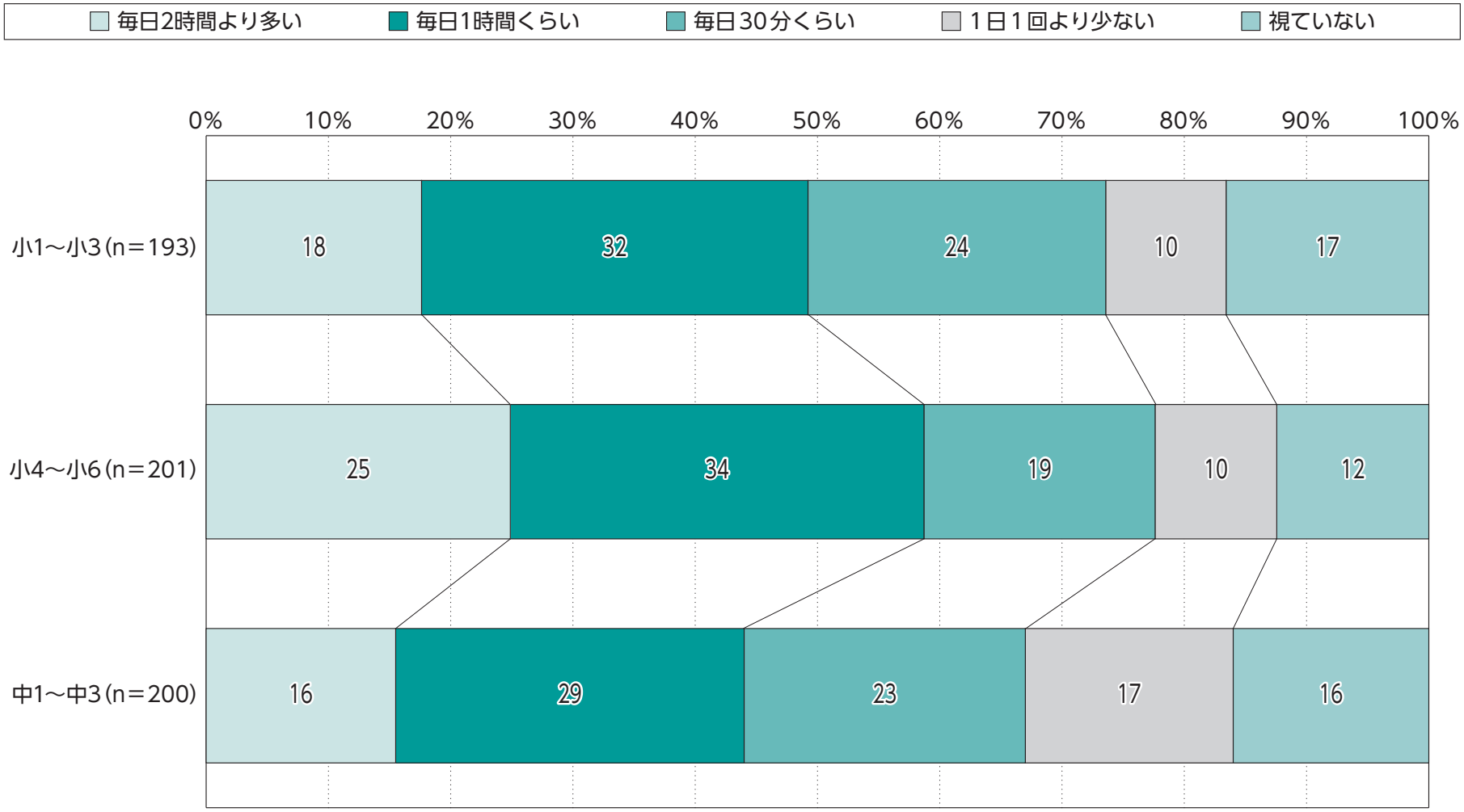
注：小中学生自身が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 2節

資料7-11

テレビ番組の視聴頻度[学年別]

●どの学年も約1～2割はテレビを視ていない。



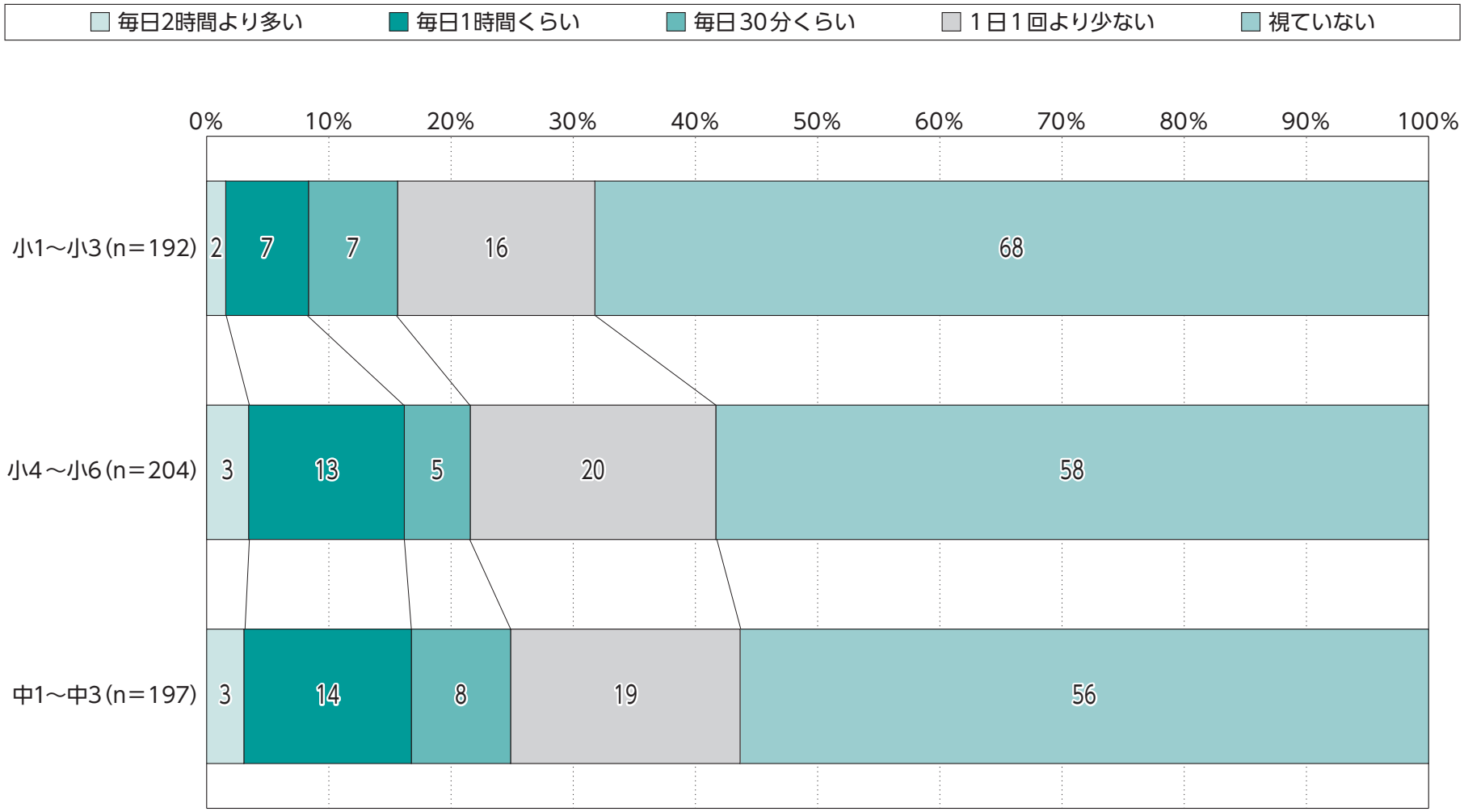
注：小中学生自身が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 2節

資料7-12

ストリーミングサービスの利用頻度[学年別]

●毎日ストリーミングサービス(Netflix・Amazon Prime Videoなど)を利用しているのは全学年で約2～3割。



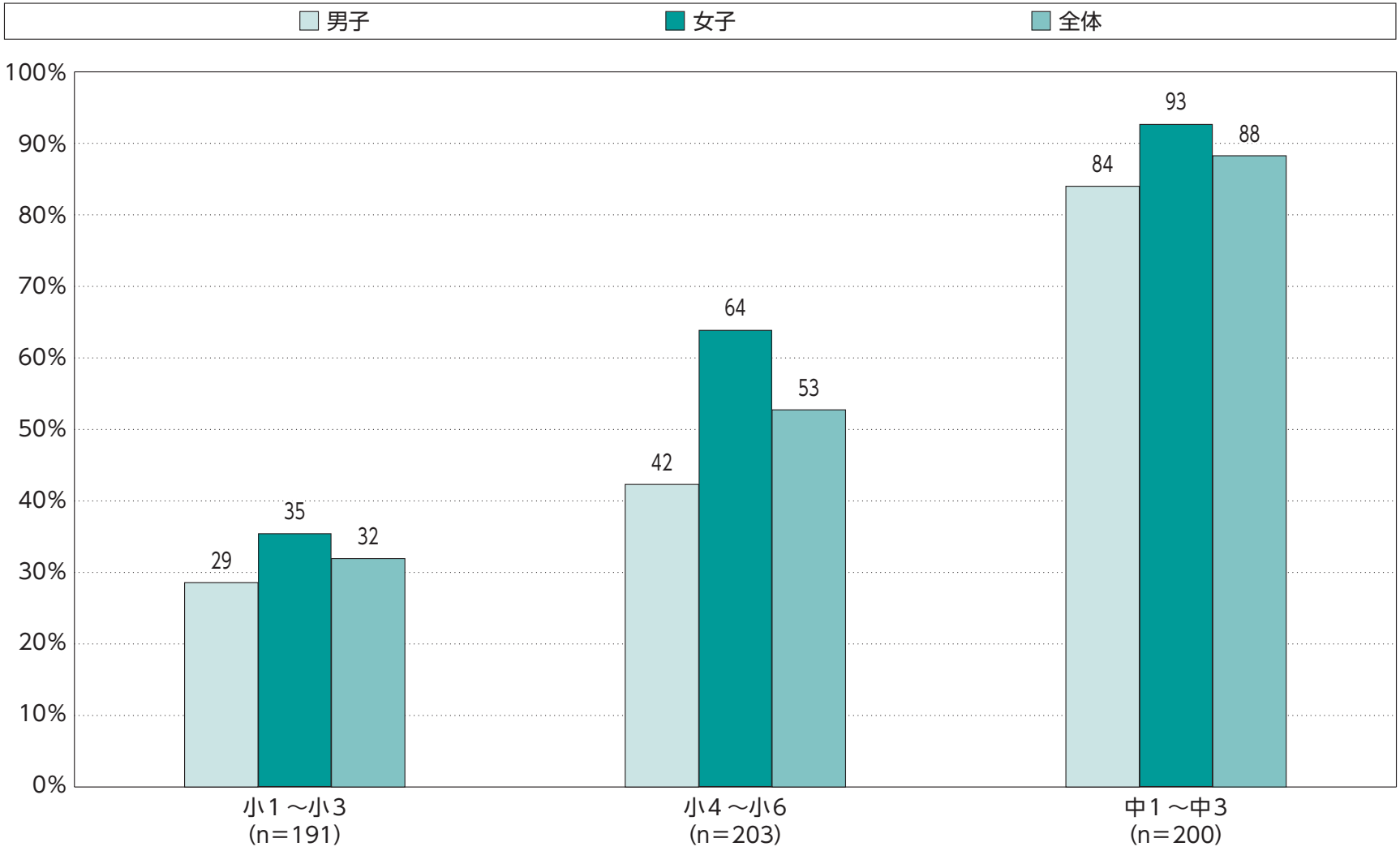
注：小中学生自身が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 2節

資料7-13

SNSの利用状況［性学年別］

●中学生になると約９割がSNSを利用。
●全学年で女子のほうが利用率が高い傾向。



注：小中学生自身が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022（訪問留置）

7章 2節

資料7-14

SNSのサービス別利用状況［性学年別］

●中学生はLINE利用が男女ともに８割超え。
●SNSは全体的に女子の利用率が高め。

（%）

	小1～小3		小4～小6		中1～中3	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
LINE	16	22	38	50	81	89
Twitter	1	2	6	5	24	35
Instagram	2	3	7	5	34	52
TikTok	16	17	15	37	46	50

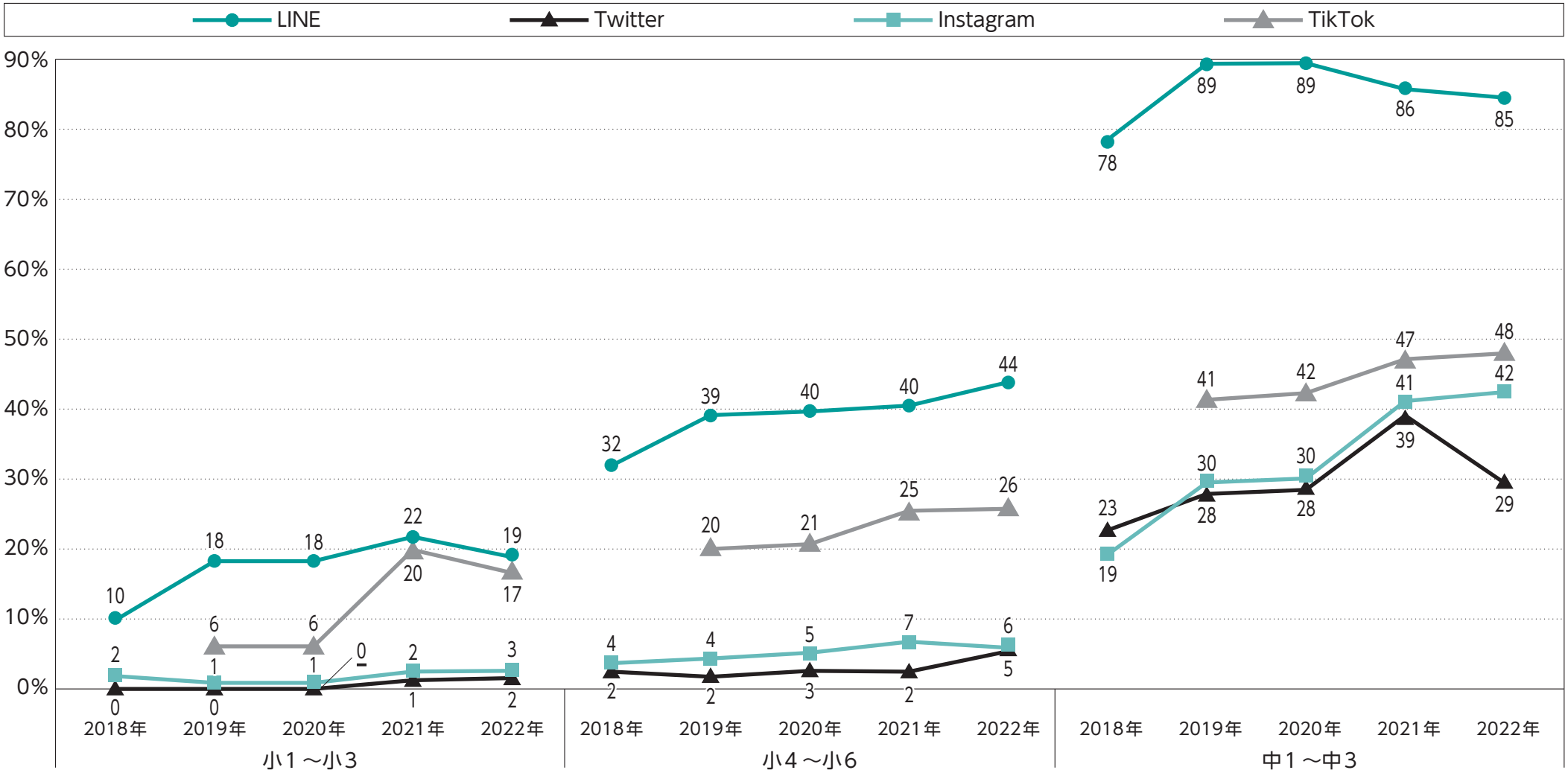
注：小中学生自身が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022（訪問留置）

7章 2節

資料7-15

SNSのサービス別利用状況年次変化［学年別］

●中学生は「Instagram」が上昇傾向、「Twitter」は下降。



注：小中学生自身が回答。

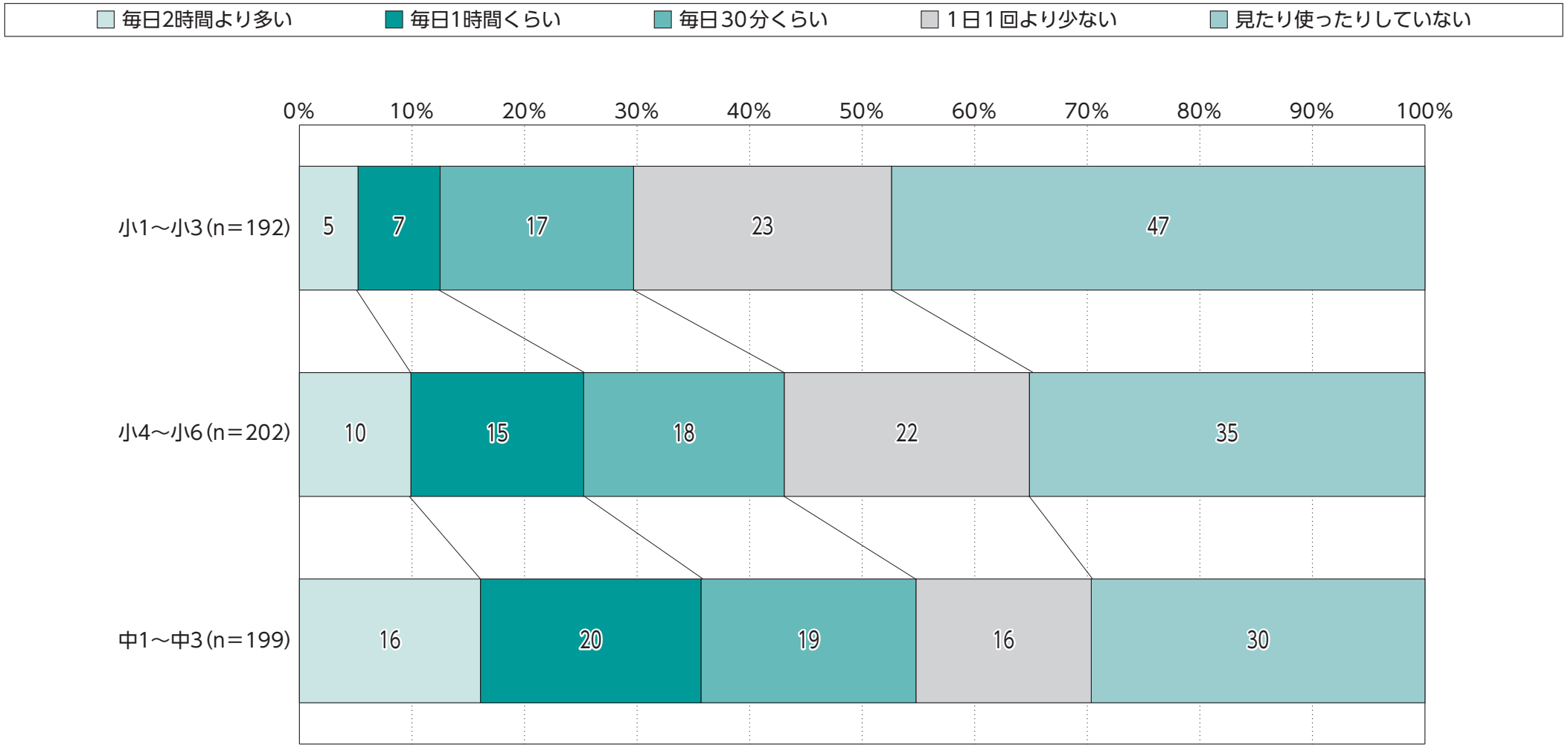
出典：2018年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）、小中学生ICT利用調査2019-2022（訪問留置）

7章 2節

資料7-16

スマートフォンやタブレットでのゲームの利用頻度[学年別]

●毎日スマートフォンやタブレットでのゲームをする子どもは小学生は3～4割、中学生は5割を超える。



注：小中学生自身が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 2節

資料7-17

専用ゲーム機で遊ぶ時間[学年別]

●毎日専用ゲーム機で遊ぶのは、小学生が約５～６割、中学生は約４割。



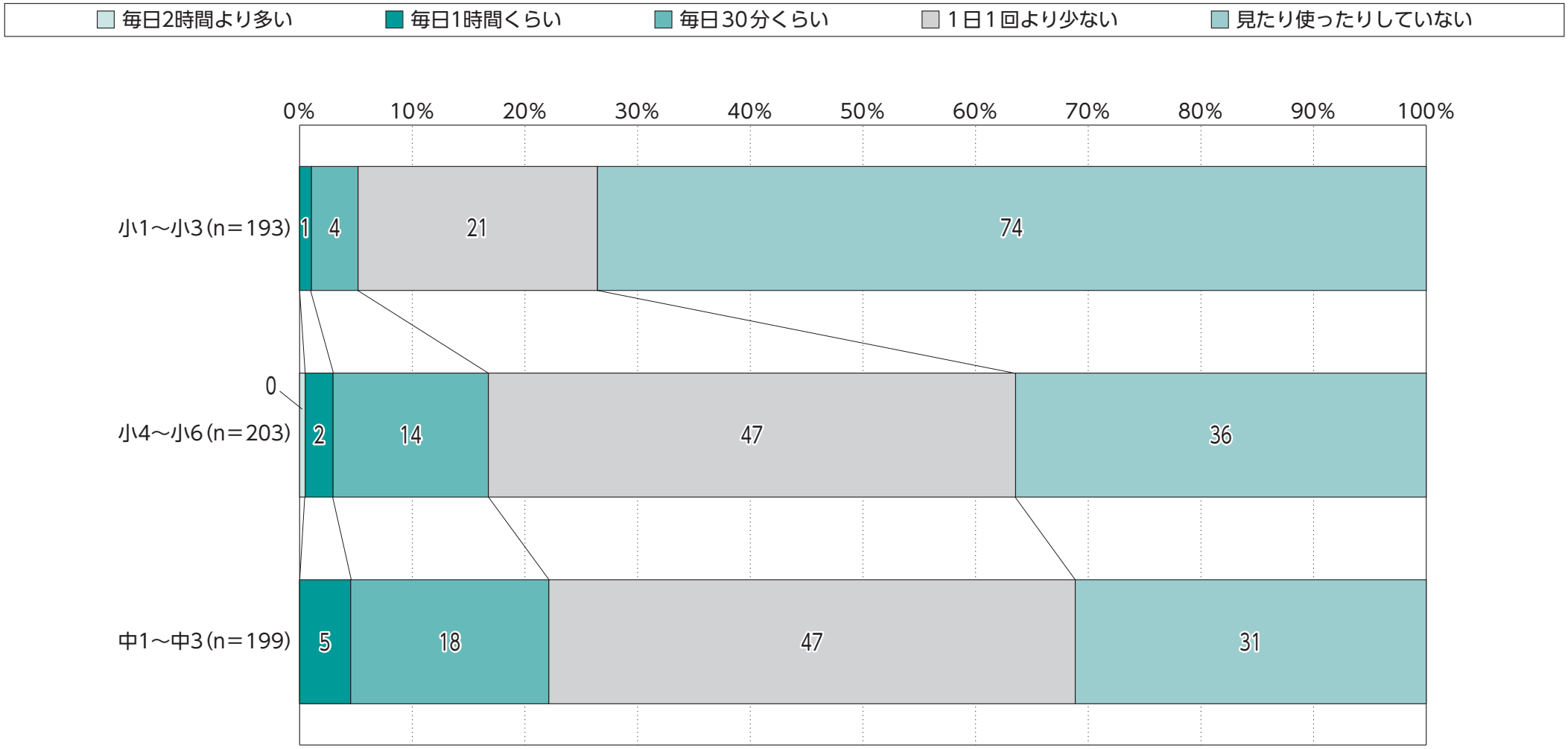
注：小中学生自身が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 2節

資料7-18

学校や塾の宿題について、インターネットで調べたり動画を見る頻度[学年別]

●毎日学校や塾の宿題についてインターネットで調べたり動画を見たりする子どもは中学生で約2割。



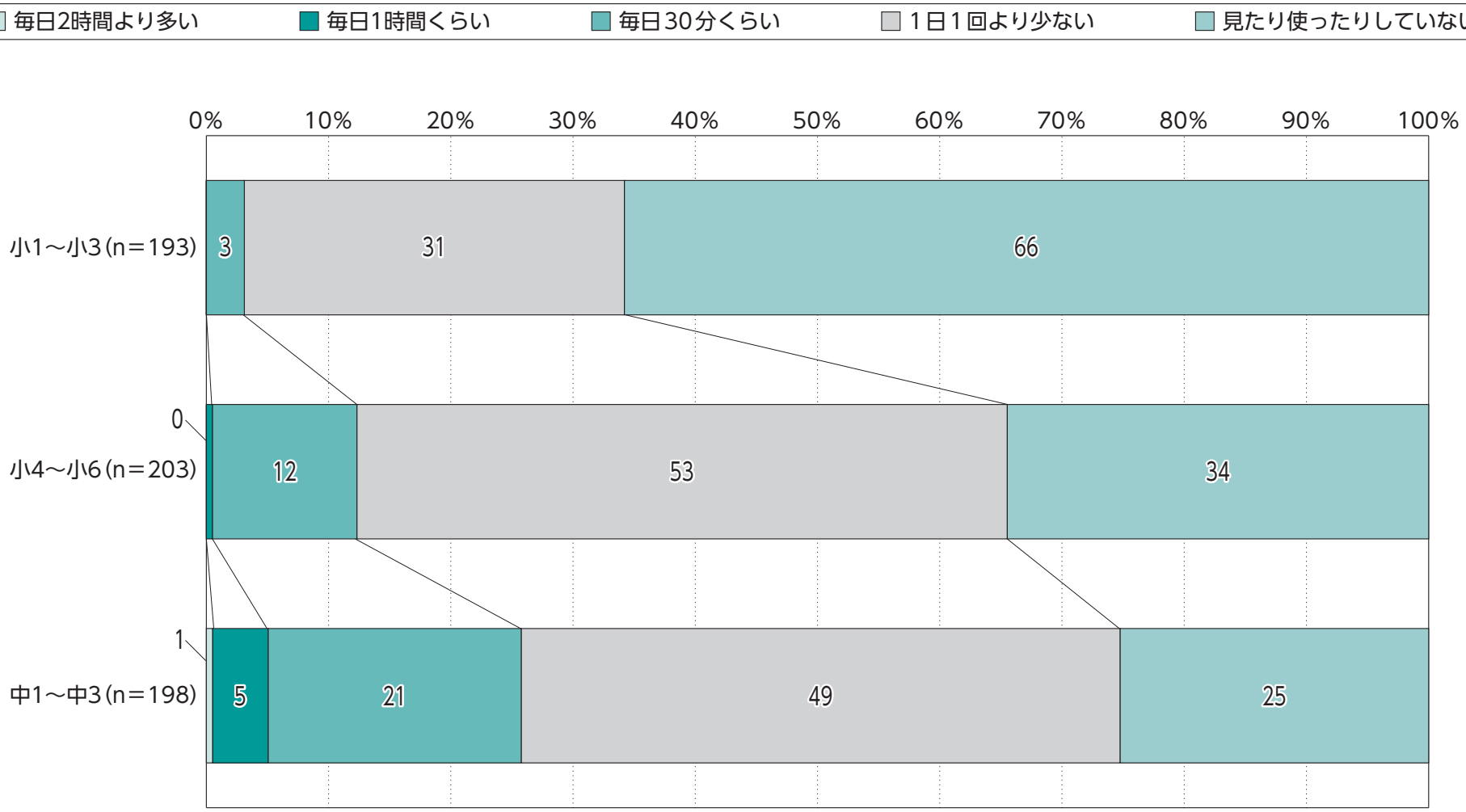
注：小中学生自身が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 2節

資料7-19

普段の生活で疑問に思ったことについてインターネットで調べたり動画を見る頻度[学年別]

●「調べる時にインターネットを利用する」は中学生になると7割を超え、小学生高学年でも6割を超える。
●中学生になると、約3割が毎日調べている。



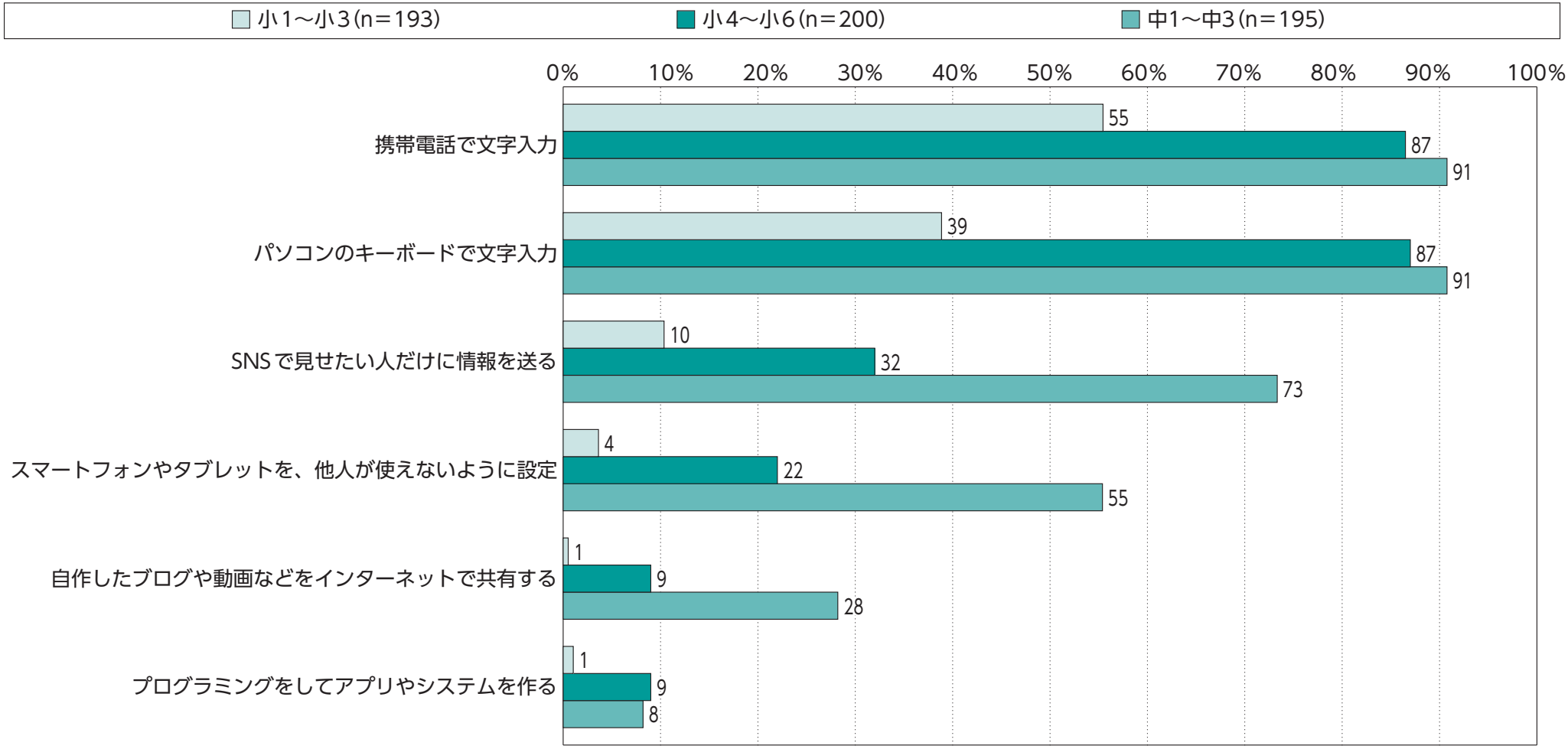
注：小中学生自身が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 2節

資料7-20

子どものICTスキル[学年別]

●携帯電話の文字入力ができる割合は、小学生高学年・中学生で約9割。
●パソコンのキーボード入力も、小学生高学年・中学生で約9割ができると回答。



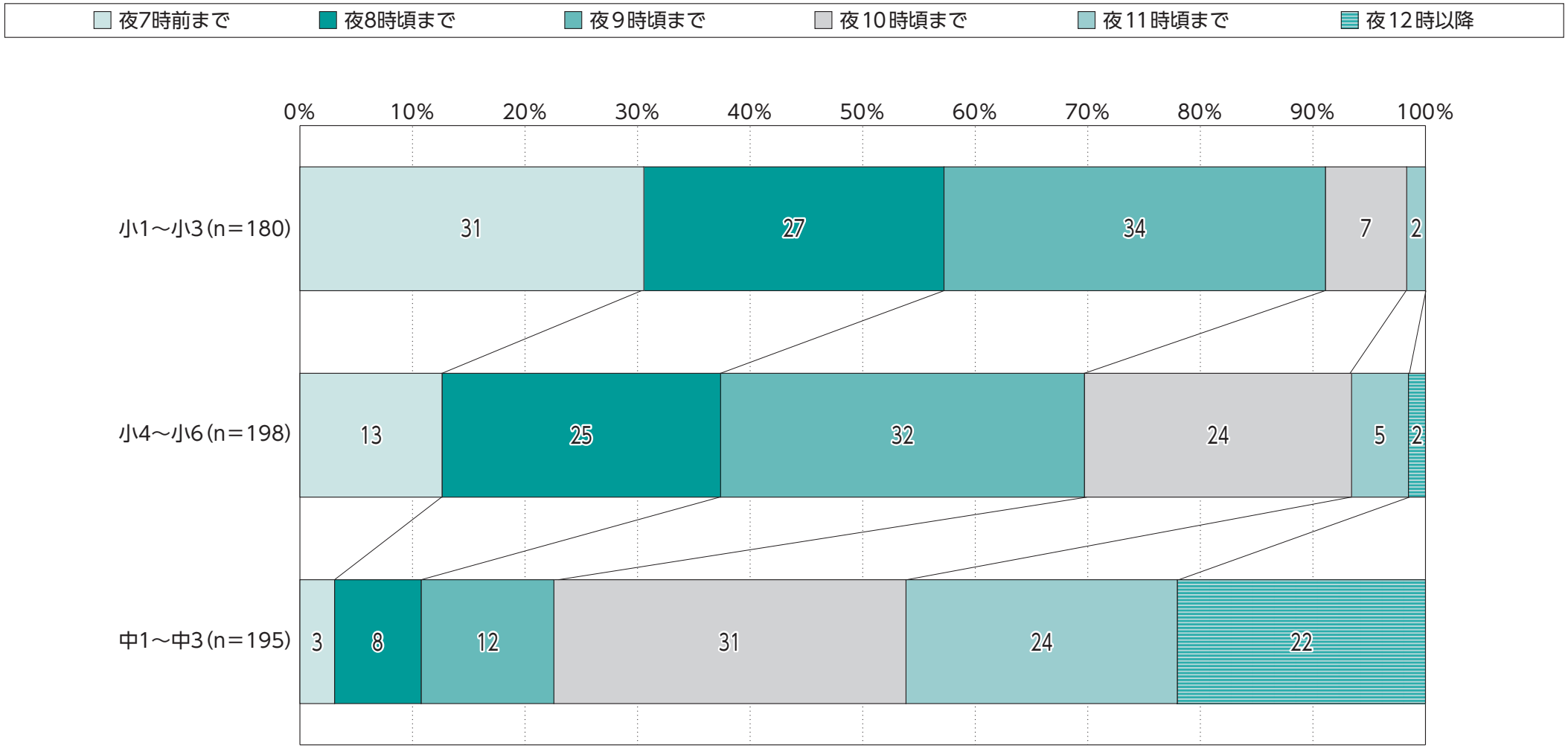
注：小中学生自身が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 2節

資料7-21

インターネット(検索、YouTube、オンラインゲーム、LINEなど)利用終了時間[学年別]

●中学生になると約8割が夜10時頃、およびそれ以降も、インターネットを利用していると回答。



注：インターネットを利用する小中学生自身が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 子どものICT利用

3節 保護者の意識と親子間ルール

子どものICT利用への期待や不安、親子間ルール設定率、親子の連絡頻度、フィルタリング利用率

ポイント

- ICT利用に関する保護者の期待、「情報を適切に収集する力が身につく」が小学生高学年・中学生で5割を超える（資料7-22）。
- スマートフォンの利用、約8～9割の保護者が「使い過ぎていると思う」（資料7-26）。
- 親子間ルールを破った際の対応、「子どもに注意する」が最も多く、次いで「子どもと話し合う」。「制限を設定する」は、どの学年でも3割以下（資料7-27）。
- 親子間のメッセージ利用頻度、中学生は「週に2、3回以上」で約4割（資料7-30）。

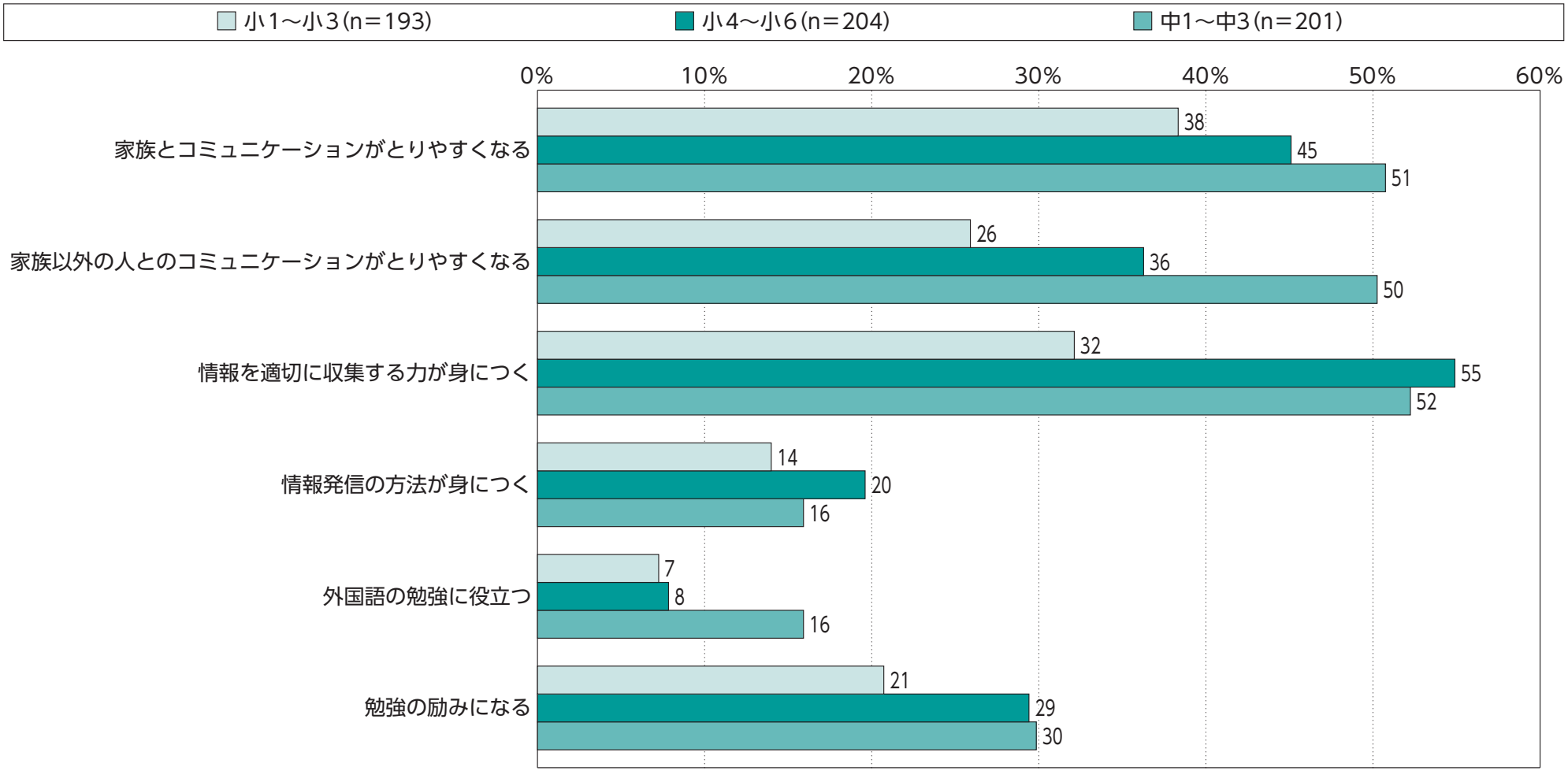
[資料7-22] 子どものICT利用に関する保護者の期待[学年別]（複数回答）……168
[資料7-23] 子どものICT利用に関する保護者の不安[学年別]（複数回答）……169
[資料7-24] 子どもに携帯電話の利用を教える場合に保護者が感じる不安[学年別]（複数回答）……170
[資料7-25] スマートフォン利用の親子間ルールの設定率[学年別]（複数回答）……171
[資料7-26] スマートフォンを使い過ぎてしまう理由[学年別]……172
[資料7-27] 子どもがスマートフォン利用の親子間ルールを破った際の行動[学年別]（複数回答）……173
[資料7-28] 親子間の直接顔を合わせた会話時間[学年別]……174
[資料7-29] 子どもが一人で過ごす時間[学年別]……175
[資料7-30] 親子間のメッセージ（LINEやメールなど）のやりとりの頻度[学年別]……176
[資料7-31] フィルタリングや利用制限などのペアレンタルコントロール利用率の年次推移[学年別]……177
[資料7-32] ペアレンタルコントロールの種類[学年別]（複数回答）……178
[資料7-33] 校内での私物の携帯電話の利用ルール[学年別]……179

7章 3節

資料7-22

子どものICT利用に関する保護者の期待［学年別］（複数回答）

●「情報を適切に収集する力が身につく」は小学生高学年・中学生で５割を超える。
●「家族とコミュニケーションがとりやすくなる」は全学年で約４～５割と、高い傾向。



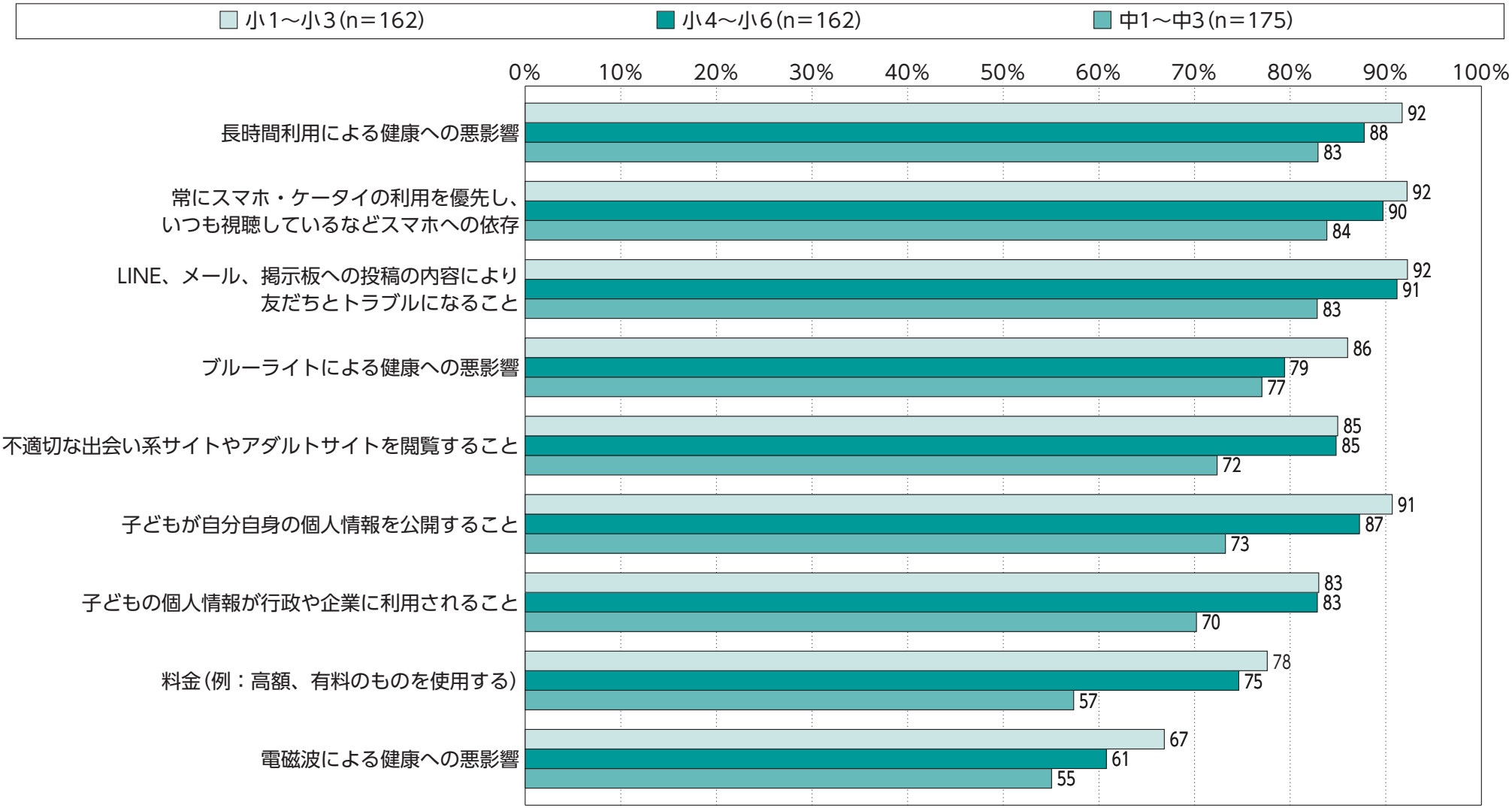
注：小中学生の保護者が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022（訪問留置）

7章 3節

資料7-23

子どものICT利用に関する保護者の不安[学年別](複数回答)

●小学生の保護者のほうが中学生の保護者に比べ不安が高い傾向。
●「長時間利用による健康への悪影響」「常にスマホ・ケータイの利用を優先し、いつも視聴しているなどスマホへの依存」「LINE、メール、掲示板への投稿の内容により友だちとトラブルになること」は、全学年で約8～9割と高い。



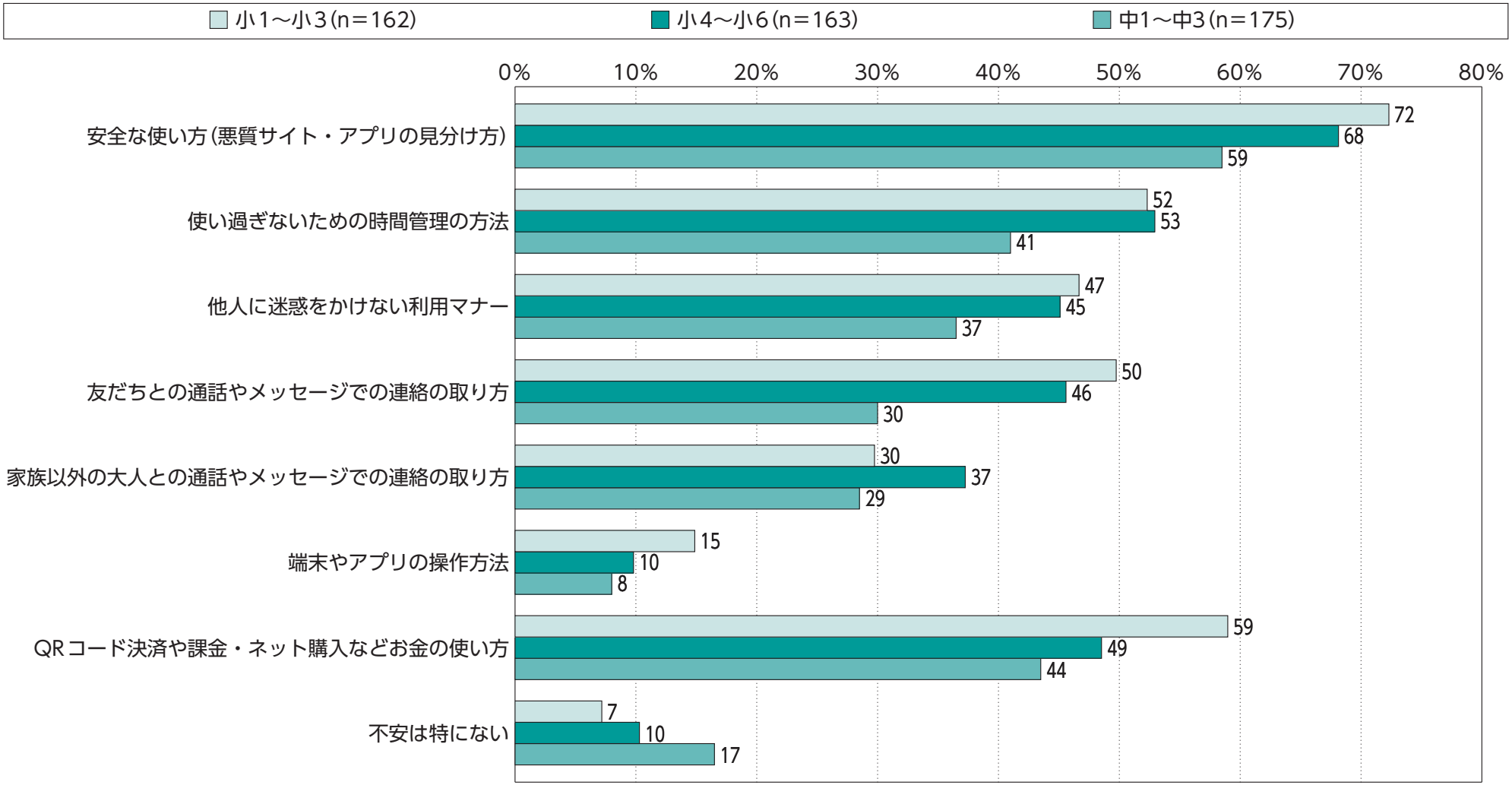
注：小中学生の保護者が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 3節

資料7-24

子どもに携帯電話の利用を教える場合に保護者が感じる不安[学年別](複数回答)

- 低学年の保護者のほうが、不安が高い傾向。
- 「安全な使い方」が約6～7割と、全学年で最も不安が高い。
- 「QRコード決済や課金・ネット購入などお金の使い方」は、低学年の保護者は約6割が不安と感じている。
- 「端末やアプリの操作方法」はいずれの学年も比較的不安に感じる割合は低い傾向。



注：小中学生の保護者が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 3節

資料7-25

スマートフォン利用の親子間ルールの設定率[学年別](複数回答)

- 「料金(課金)」に関するルールは全学年で高い。
- 「場所や時間」に関するルールは小学生で高い。
- 「個人情報」に関するルールは小学生高学年、中学生で高い。



(%)

小1～小3(n＝65)		小4～小6(n＝102)		中1～中3(n＝169)	
スマホを使うのは決められた時間だけ(夜○○時まで、○時間以内など)	74	勝手に課金・ネット購入をしない	85	勝手に課金・ネット購入をしない	87
アプリをダウンロードする時は保護者に相談し、追加料金がかからないようにする	69	アプリをダウンロードする時は保護者に相談し、追加料金がかからないようにする	81	アプリをダウンロードする時は保護者に相談し、追加料金がかからないようにする	72
食事中にスマホを利用しない	68	スマホを使うのは決められた時間だけ(夜○○時まで、○時間以内など)	74	面識のない人とは連絡や連絡先の交換をしない	70
勝手に課金・ネット購入をしない	66	食事中にスマホを利用しない	74	個人情報や本人だと特定できる写真をネット上にアップしない	70
歩行中や自転車に乗りながらスマホ・ケータイを利用しない	55	面識のない人とは連絡や連絡先の交換をしない	74	歩行中や自転車に乗りながらスマホ・ケータイを利用しない	69

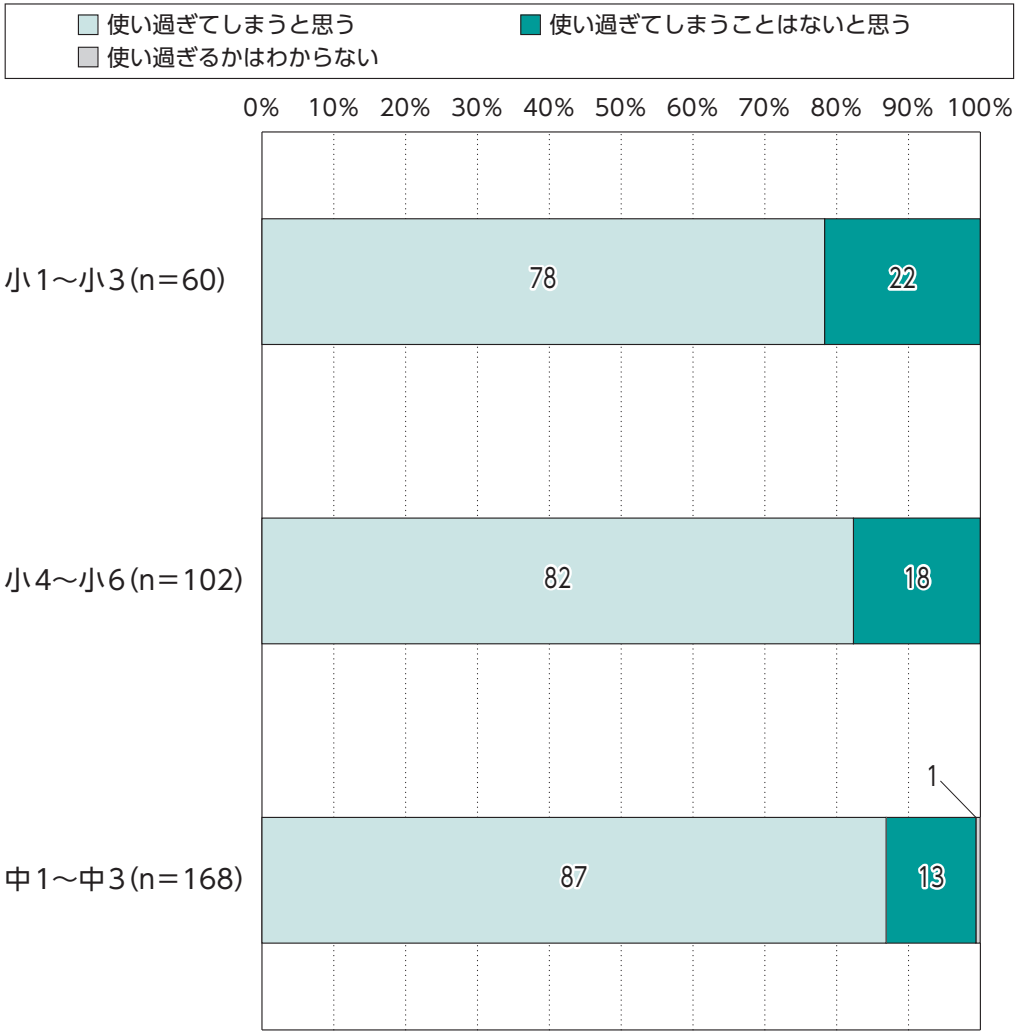
注：スマートフォンを利用する小中学生の保護者が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

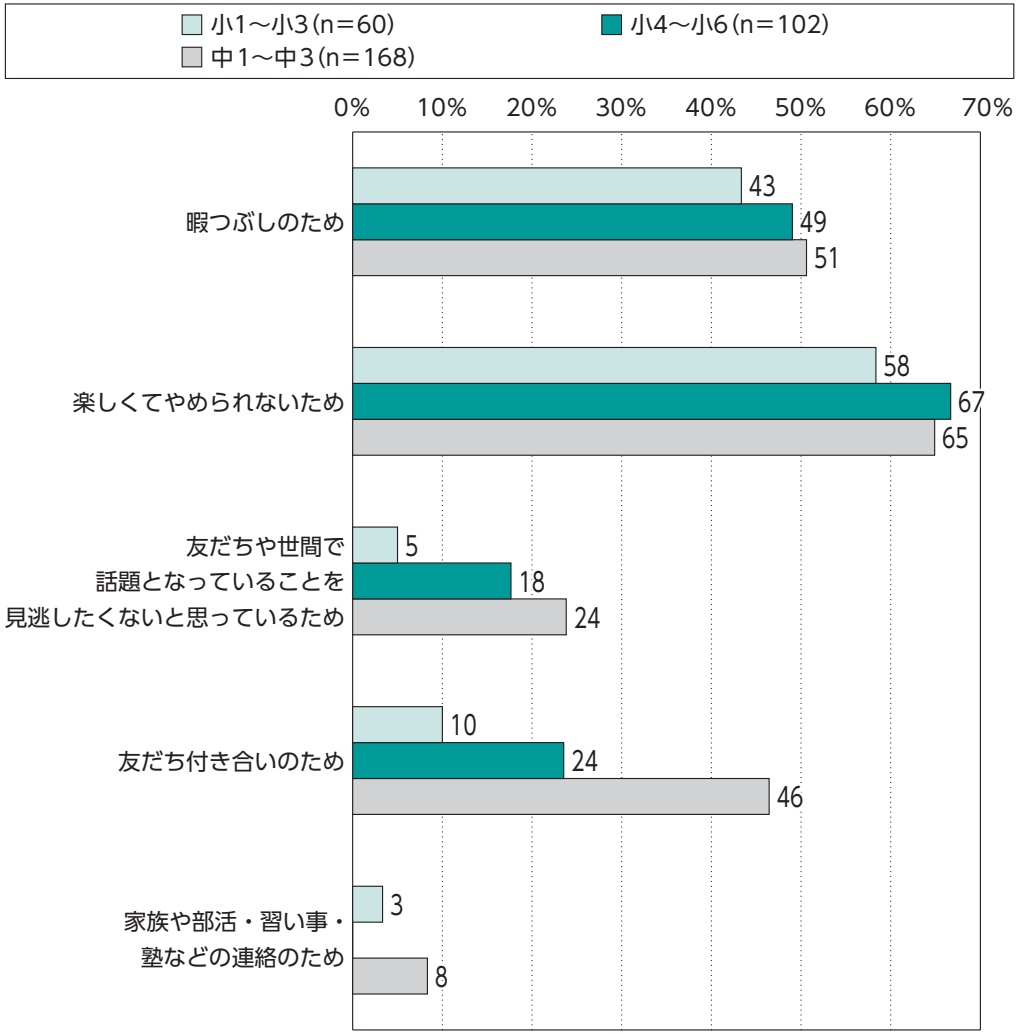
7章 3節

資料7-26

スマートフォンを使い過ぎてしまう理由[学年別]

●スマートフォンを利用する小中学生の保護者の約8～9割が「使い過ぎていると思う」と回答。
●「使い過ぎていると思う」と回答した保護者にその理由を聞くと、「楽しくてやめられないため」が約6～7割と最も高い。中学生になると「友だち付き合いのため」も約5割と、他の学年に比べ高くなる。





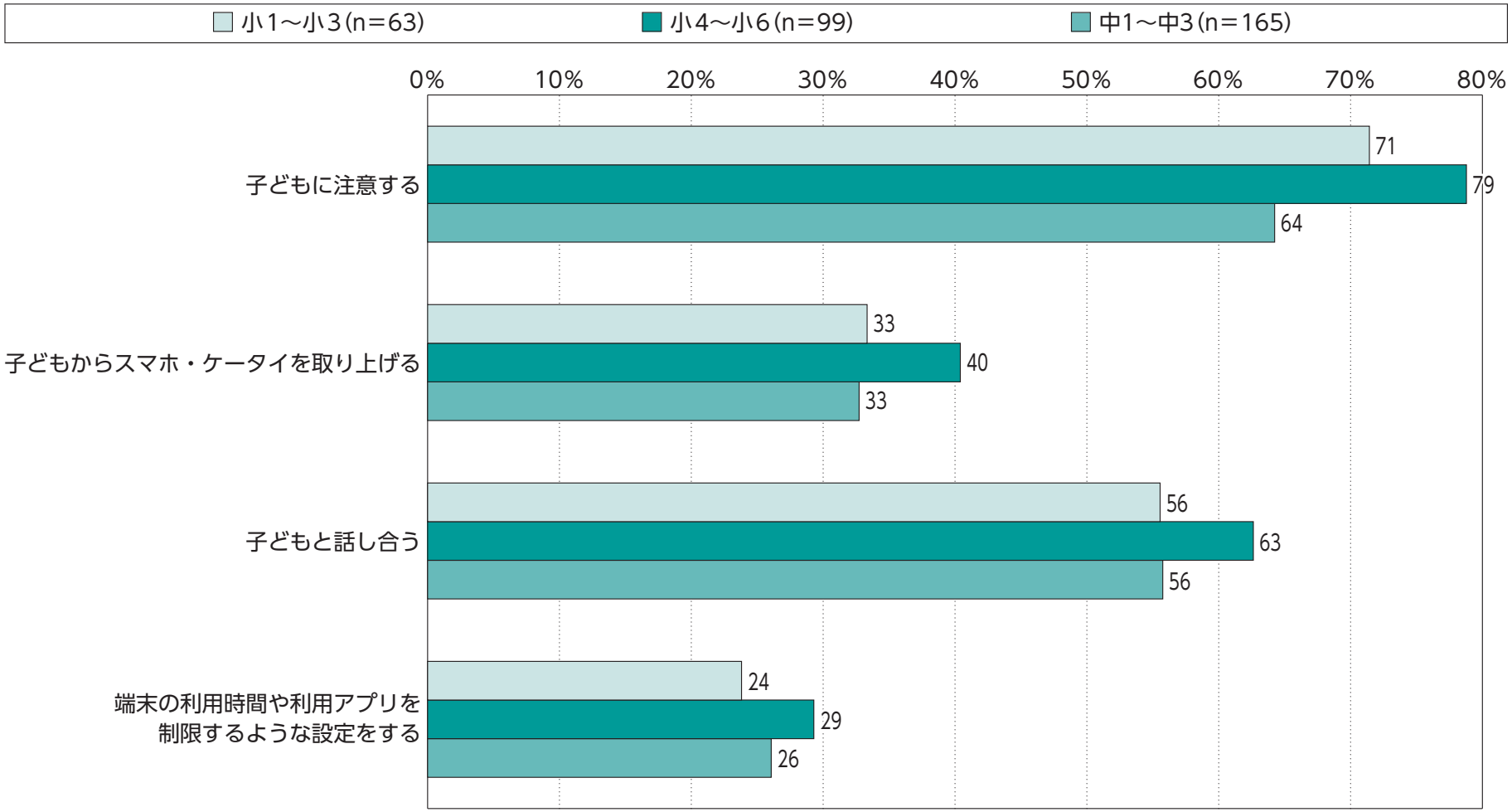
注：スマートフォンを利用する小中学生の保護者が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 3節

資料7-27

子どもがスマートフォン利用の親子間ルールを破った際の行動[学年別](複数回答)

●親子間ルールを破った際には「子どもに注意する」が最も多く、次いで「子どもと話し合う」。
●「制限を設定する」は、どの学年でも3割以下。



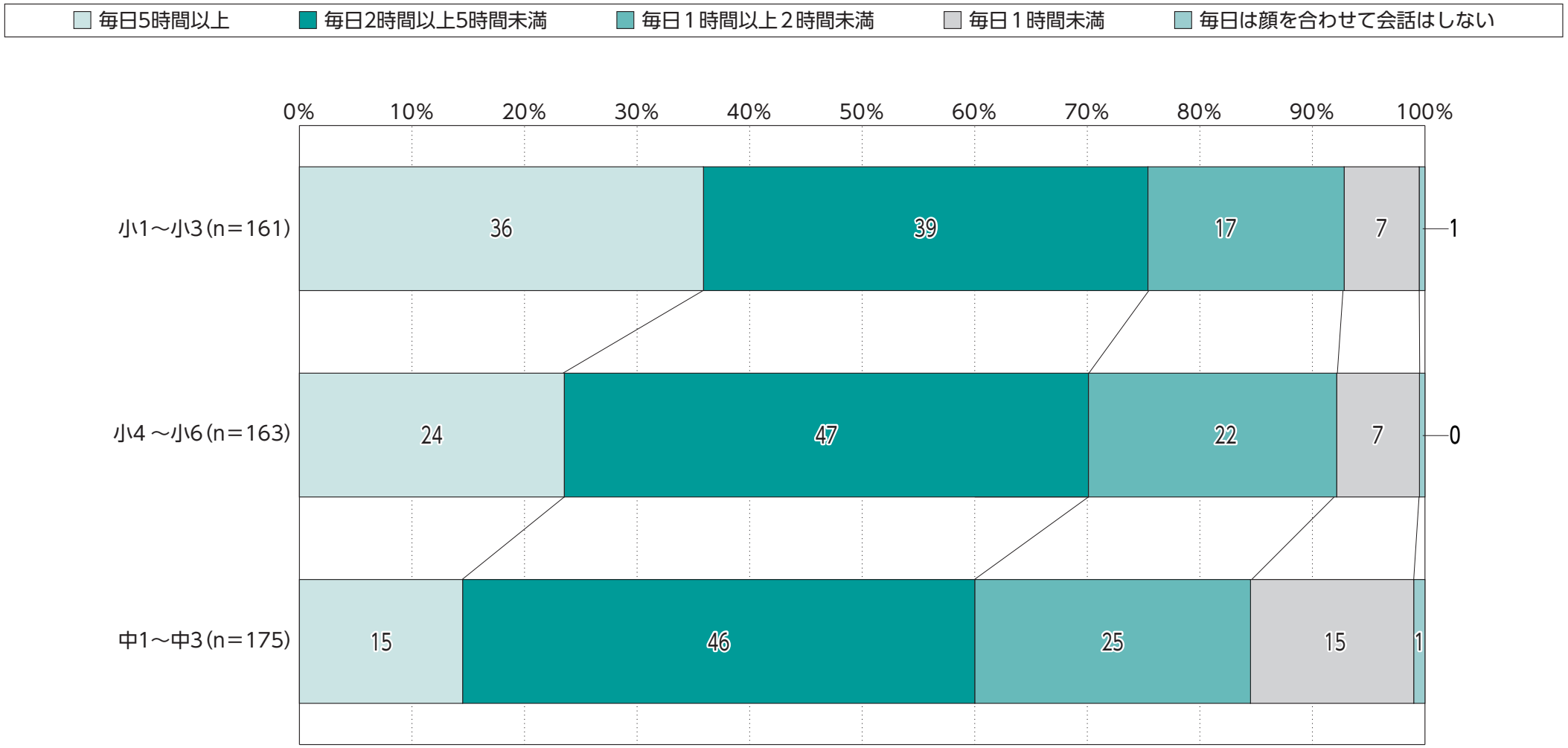
注1：スマートフォン利用で親子間ルールを設定している小中学生の保護者が回答。
注2：「もしお子さまが携帯電話利用の親子間ルールを破ったらどうしますか。当てはまるものをすべてお選びください」と質問。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 3節

資料7-28

親子間の直接顔を合わせた会話時間[学年別]

●会話時間は学年が上がるに伴い減少する傾向。
●毎日２時間以上会話する割合は、小１～小３では約８割だが、中学生では６割程度に減少。



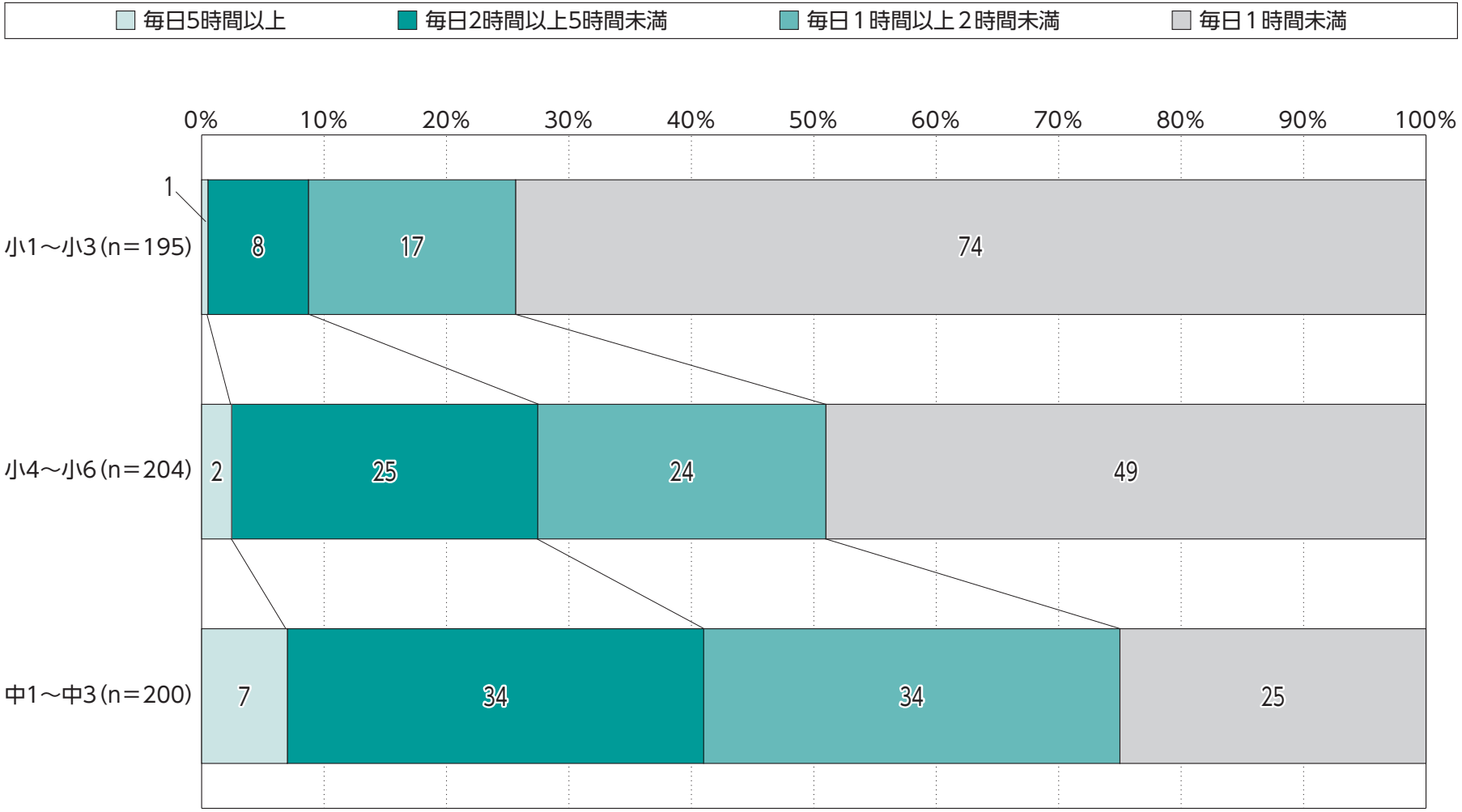
注：小中学生の保護者が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 3節

資料7-29

子どもが一人で過ごす時間[学年別]

●子どもが一人で過ごす時間は学年が上がるにつれて拡大。
●毎日２時間以上の割合は、小１～小３が約１割、小４～小６が約３割、中１～中３が約４割。



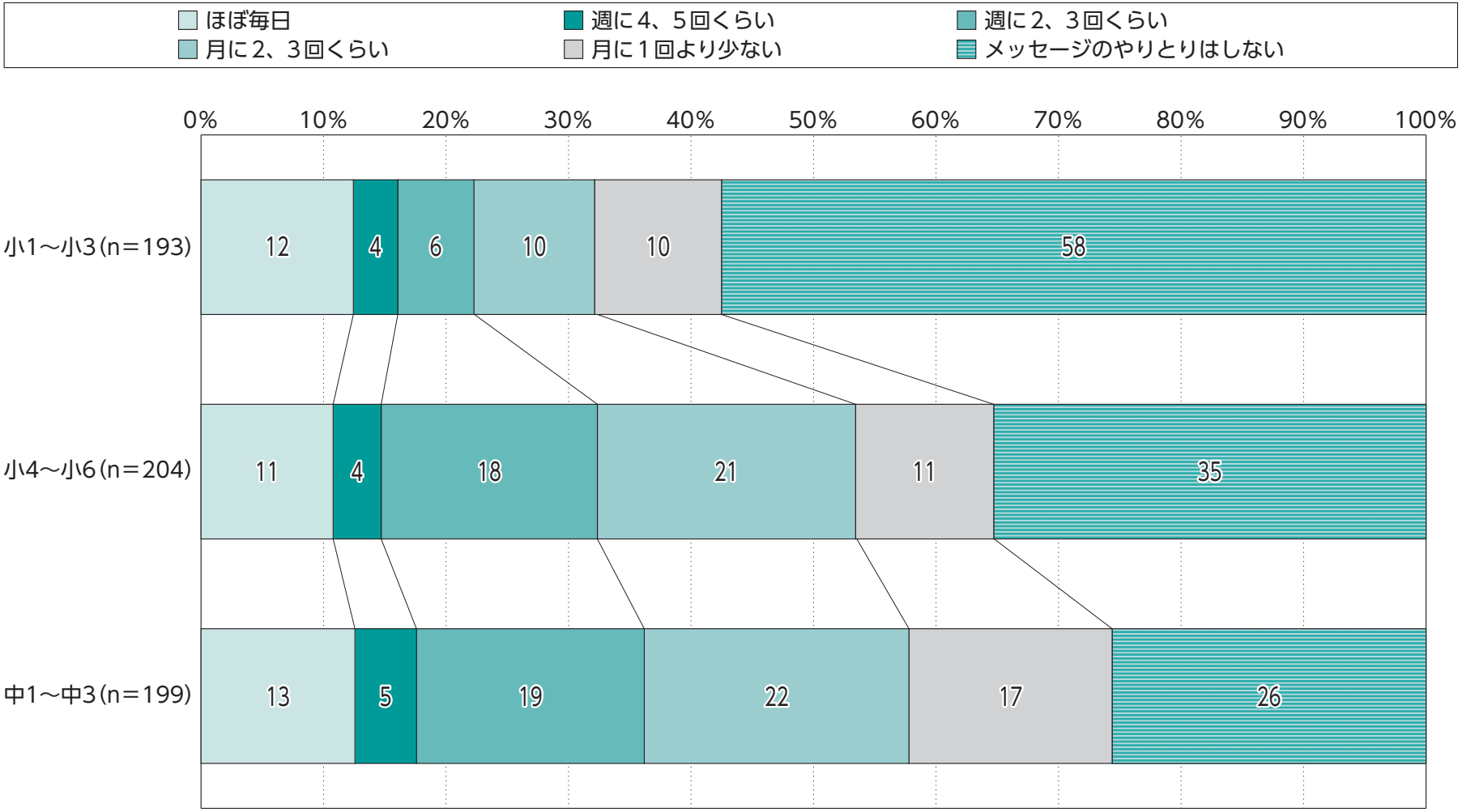
注：小中学生の保護者が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 3節

資料7-30

親子間のメッセージ(LINEやメールなど)のやりとりの頻度[学年別]

●親子間のメッセージ利用頻度は学年が上がるにつれて拡大。
●中学生は、「週に2、3回以上」で約4割。



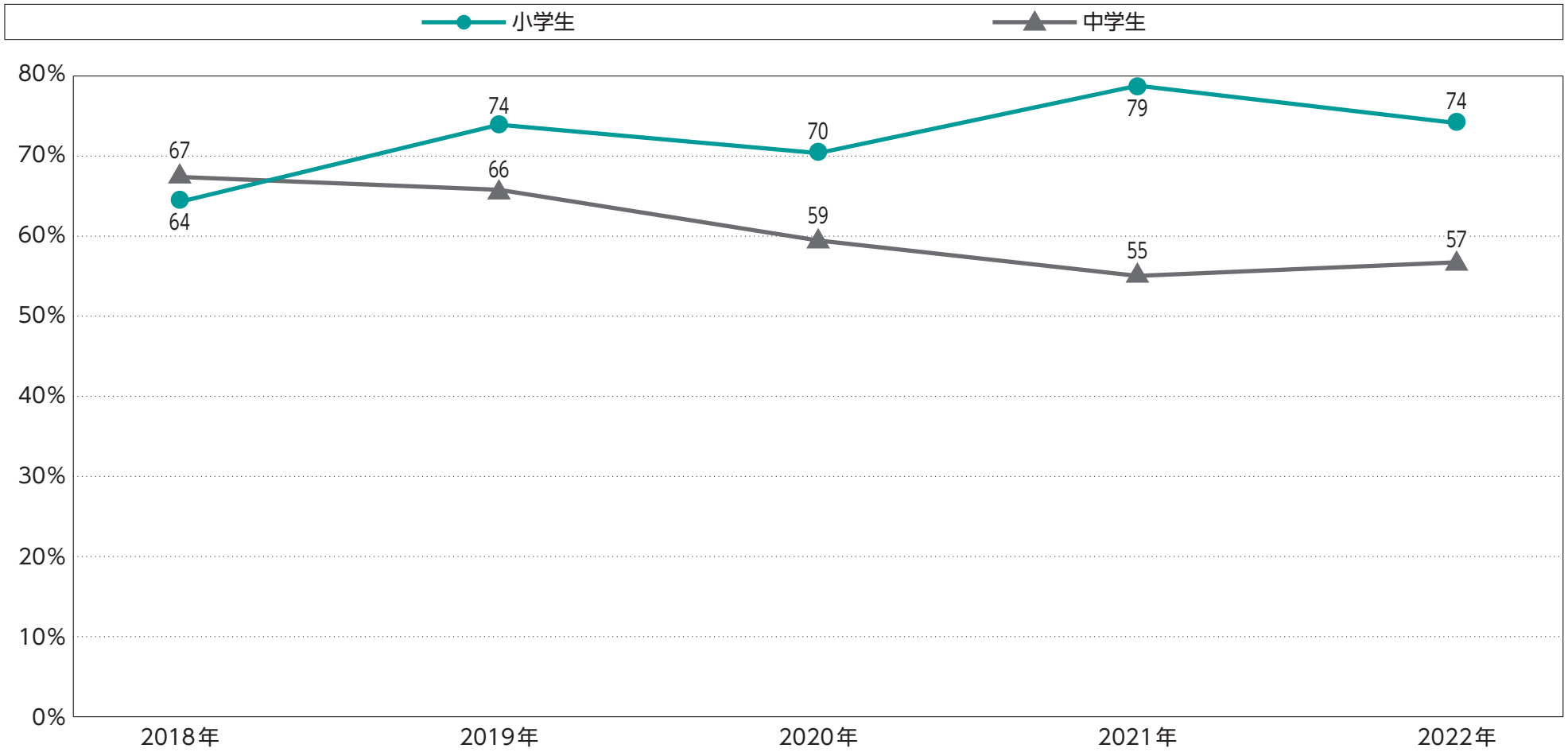
注：小中学生の保護者が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 3節

資料7-31

フィルタリングや利用制限などのペアレンタルコントロール利用率の年次推移[学年別]

●小学生、中学生ともに、横ばい傾向。



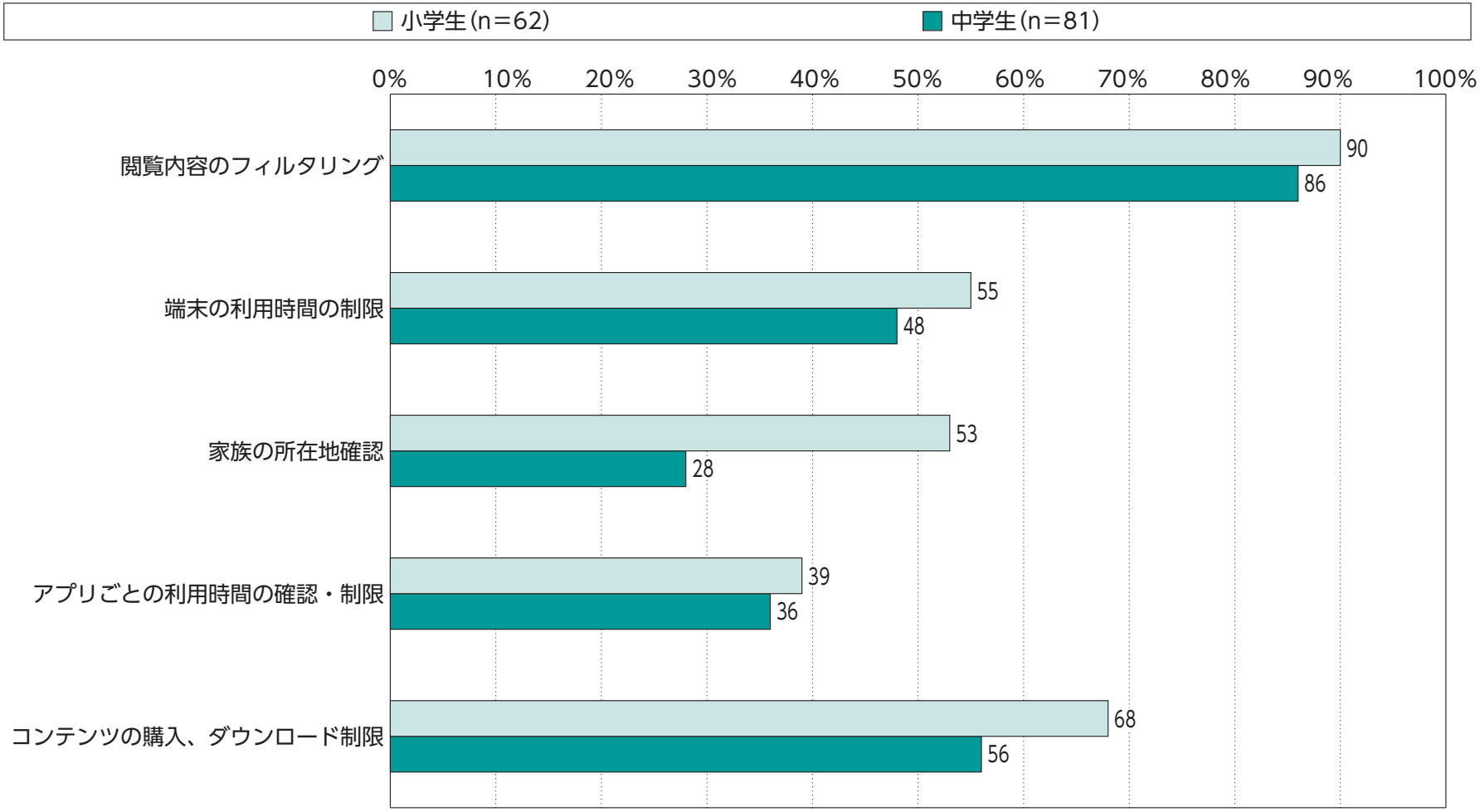
注1：小中学生の保護者が回答。
注2：「あなたのお子さまの携帯電話はフィルタリングや利用制限などの、ペアレンタル・コントロール・サービスを利用できますか。また、実際に利用していますか」と質問。
注3：スマートフォンを所有している子の親が対象。
出典：子どものケータイ利用に関する調査2018、小中学生ICT利用調査2019-2022（訪問留置）

7章 3節

資料7-32

ペアレンタルコントロールの種類[学年別](複数回答)

●「閲覧内容のフィルタリング」が最も高く約9割。



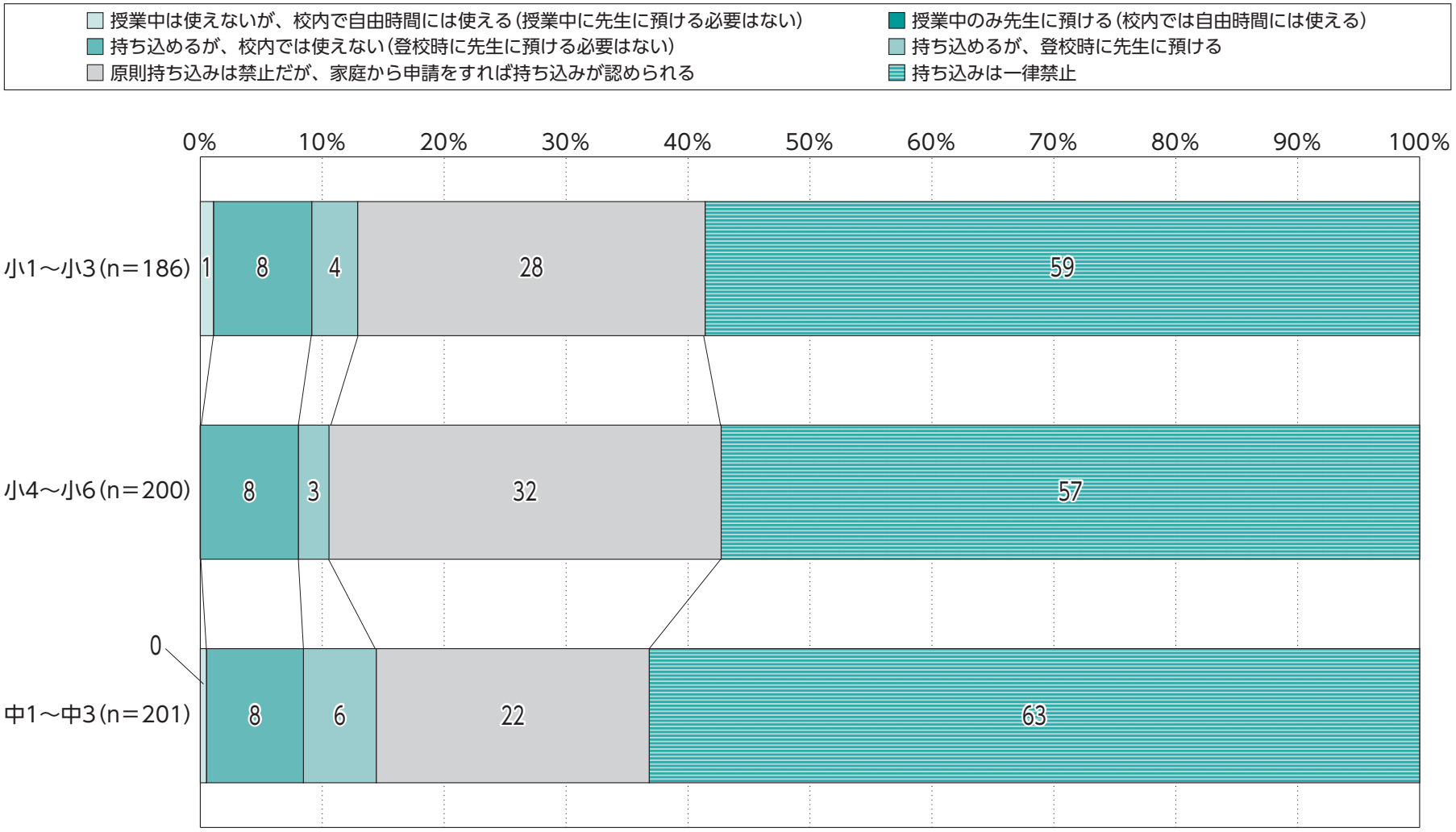
注1：小中学生の保護者が回答。
注2：専用のスマートフォンを所有し、ペアレンタルコントロールを実施している人が対象。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 3節

資料7-33

校内での私物の携帯電話の利用ルール［学年別］

●「持ち込みは一律禁止」が、全学年で約６割。
●持ち込める中では「原則持ち込みは禁止だが、家庭から申請をすれば持ち込みが認められる」が最も高く、約２～３割。



注：小中学生の保護者が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022（訪問留置）

7章 子どものICT利用

4節 学校との関わり

タブレット・パソコンの利用、貸与された端末の活用、オンライン授業の感想

ポイント

- 貸与されたタブレット・パソコン、「自宅への持ち帰り禁止」は1割程度（資料7-36）。
- 学校でのタブレット・パソコンの使用頻度、「週に2、3回以上」が小学生高学年・中学生で約6割（資料7-40）。
- ICT授業への評価、「先生は上手に進めてくれる」が約8割と高評価（資料7-41）。
- ICTを使った勉強、「わかりやすい」が8割以上、「操作を面倒に感じる」は3割程度（資料7-42）。

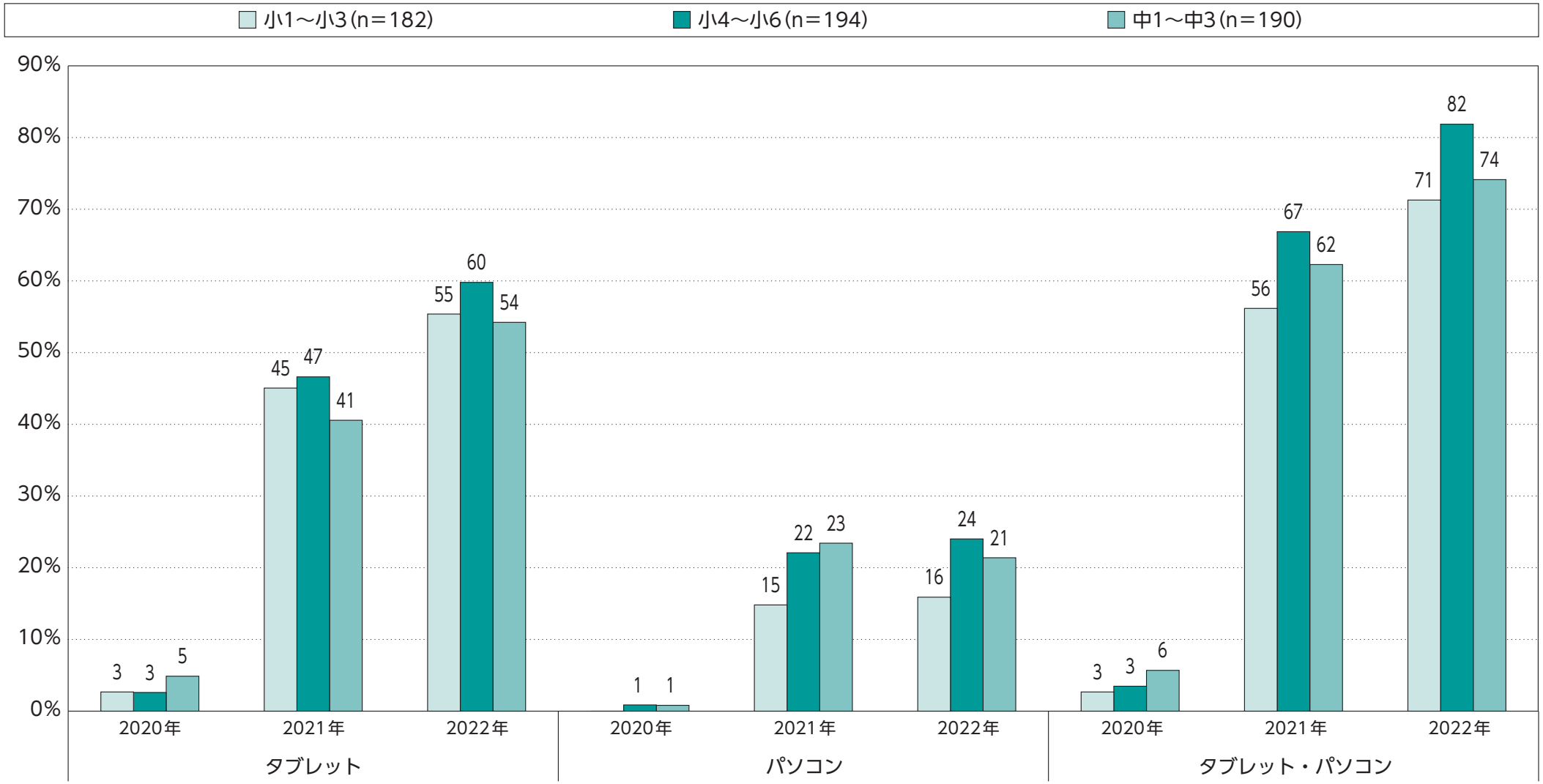
[資料7-34] 学校から貸与されたタブレット・パソコンの家庭での利用［学年別］……181
[資料7-35] 学校からのタブレット・パソコン貸与　配布時期［学年別］……182
[資料7-36] 学校から貸与されたタブレット・パソコンの家庭利用時の制限［学年別］……183
[資料7-37] 家庭でのタブレット・パソコンの活用状況（複数回答）……184
[資料7-38] 家庭で所有するタブレット・パソコンの利用［学年別］……185
[資料7-39] 学校の中でのタブレット・パソコンの活用状況（複数回答）……186
[資料7-40] 学校の授業でのタブレット・パソコンの使用頻度［学年別］……187
[資料7-41] ICT授業への評価（複数回答）……188
[資料7-42] ICT（パソコンやタブレット、スマホ）を使った勉強の感想……189
[資料7-43] 子がスマホ・パソコンを使うことへの考え方……190

7章 4節

資料7-34

学校から貸与されたタブレット・パソコンの家庭での利用[学年別]

●貸与された「タブレット」「パソコン」利用は2021年に大幅に増加し、2022年はさらに増加。
●全学年でいずれかが貸与されている率は7割を超える。



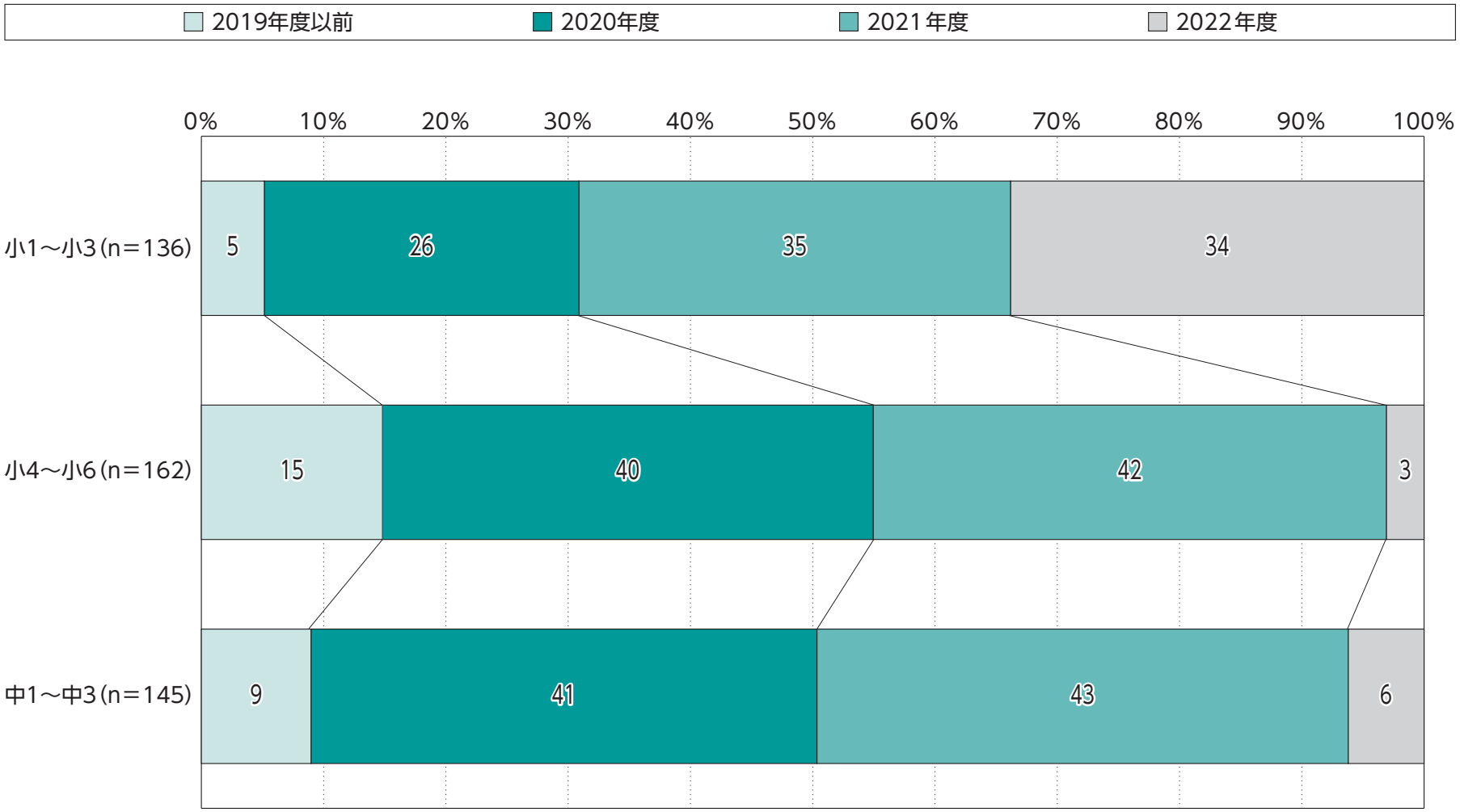
注：小中学生の保護者が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 4節

資料7-35

学校からのタブレット・パソコン貸与　配布時期[学年別]

●小学生高学年・中学生は、9割以上が2021年度までに貸与されている。



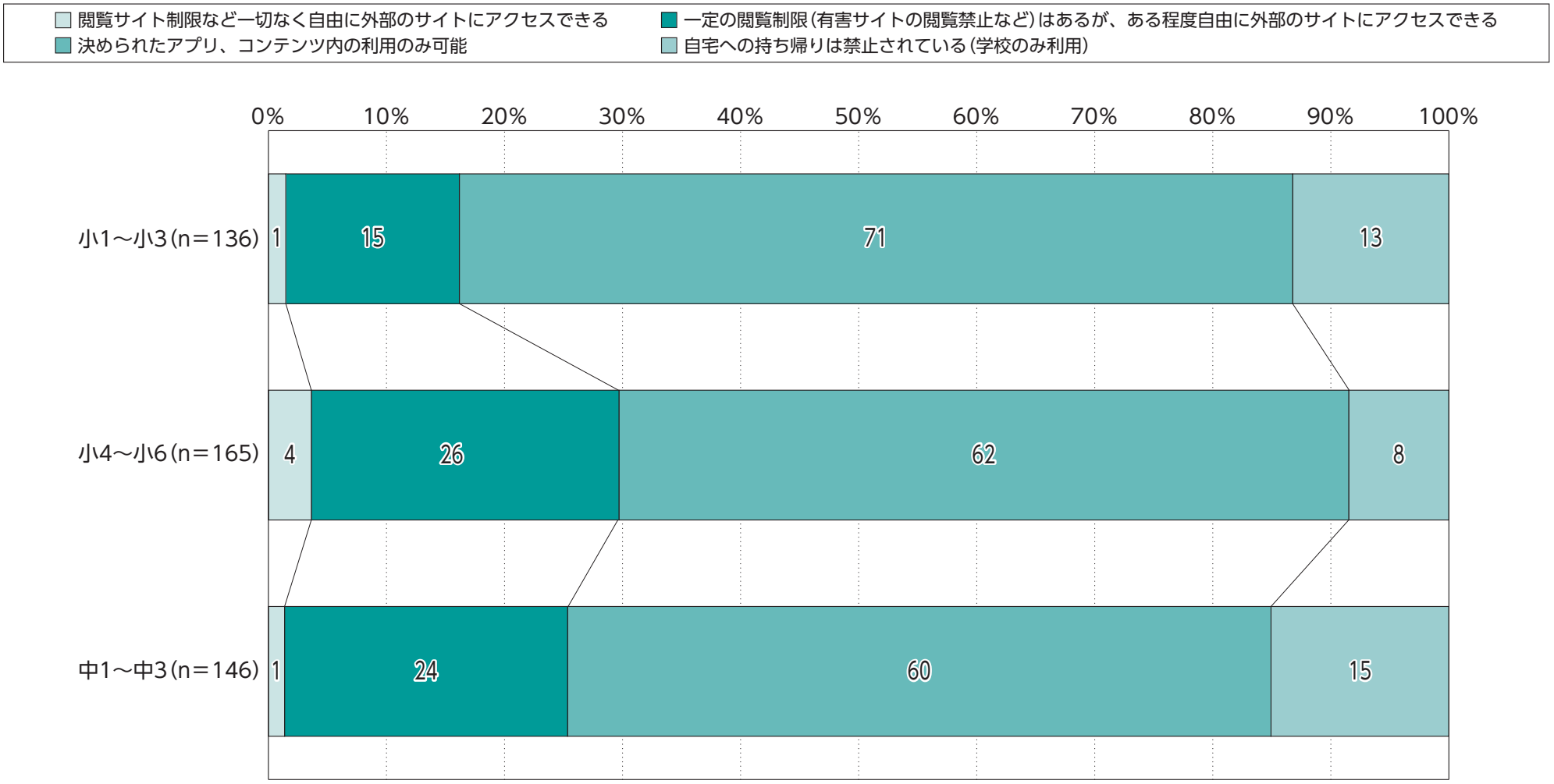
注1：小中学生の保護者が回答。
注2：学校からタブレット・パソコンが貸与された子が対象。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 4節

資料7-36

学校から貸与されたタブレット・パソコンの家庭利用時の制限[学年別]

●約6～7割が「決められたアプリ、コンテンツ内の利用のみ可能」。
●「自宅への持ち帰り禁止」は1割程度。



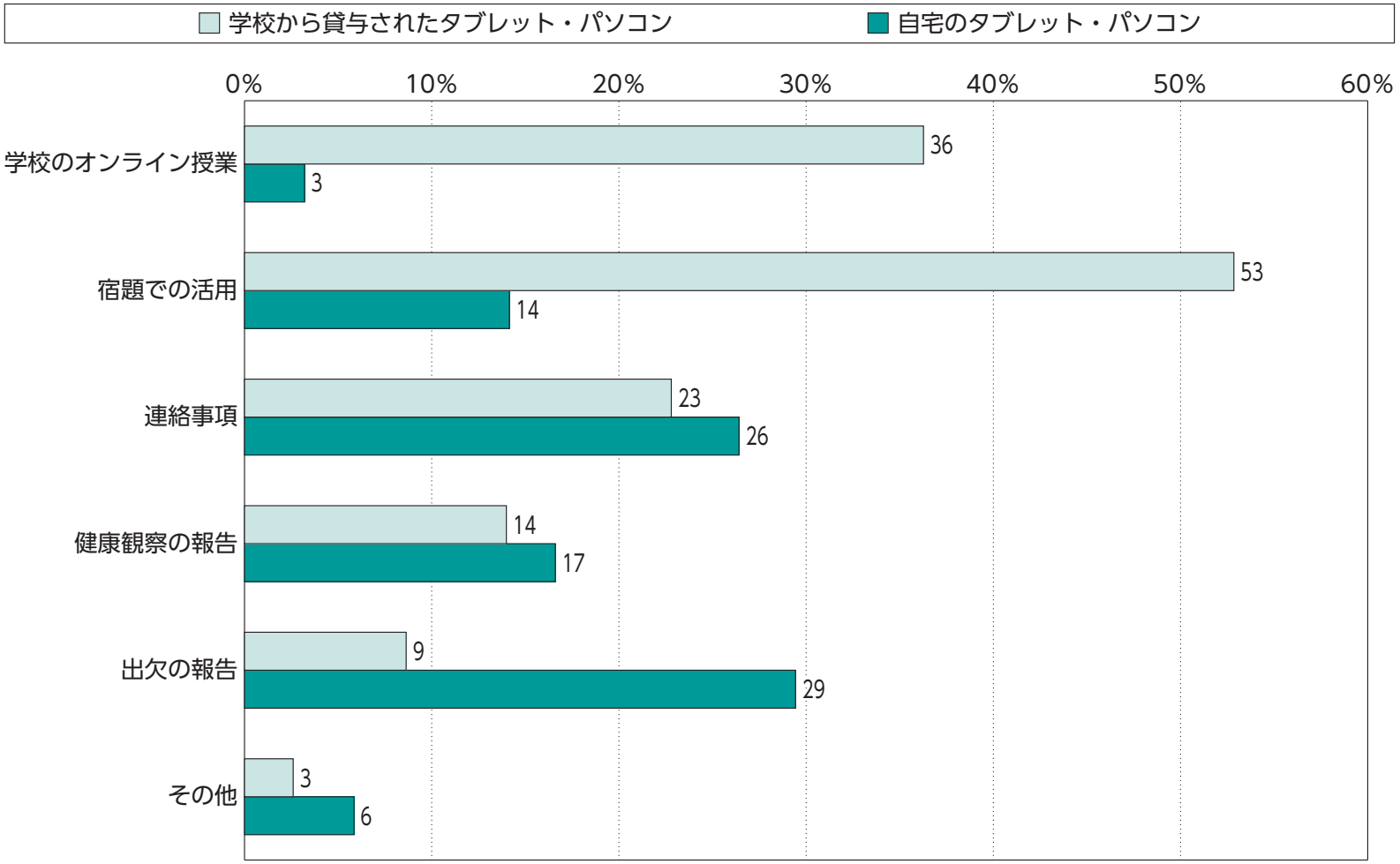
注1：小中学生の保護者が回答。
注2：学校からタブレット・パソコンが貸与された子が対象。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 4節

資料7-37

家庭でのタブレット・パソコンの活用状況（複数回答）

●貸与されたパソコンの活用は「宿題」が最も多く、約半数。
●オンライン授業での活用は約４割。



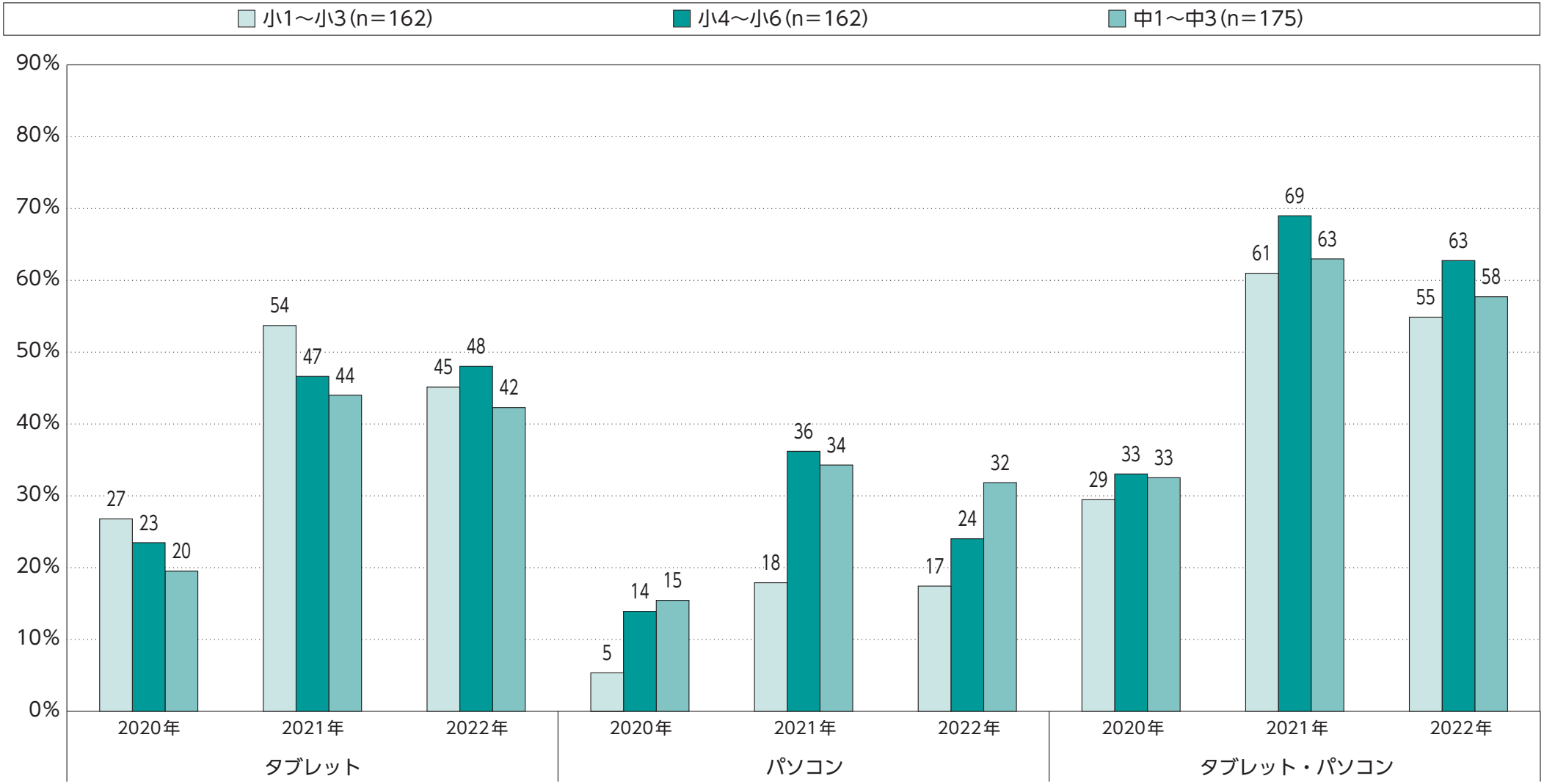
注：小中学生の保護者が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022（訪問留置）

7章 4節

資料7-38

家庭で所有するタブレット・パソコンの利用[学年別]

●家庭で所有するタブレット・パソコンの利用は2021年に大きく上昇。



注：小中学生の保護者が回答。

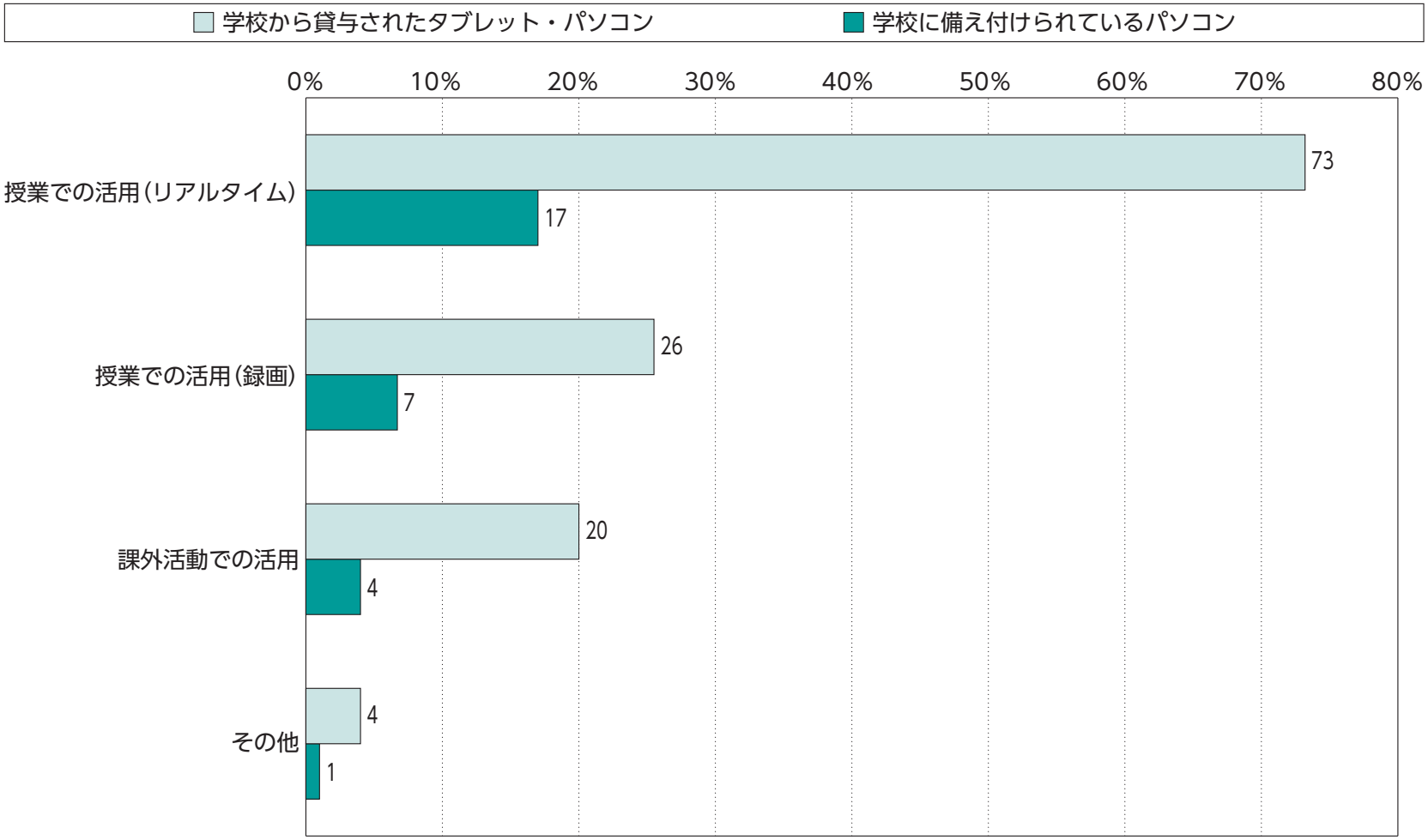
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 4節

資料7-39

学校の中でのタブレット・パソコンの活用状況（複数回答）

●リアルタイムでの授業で活用されている割合が高い。



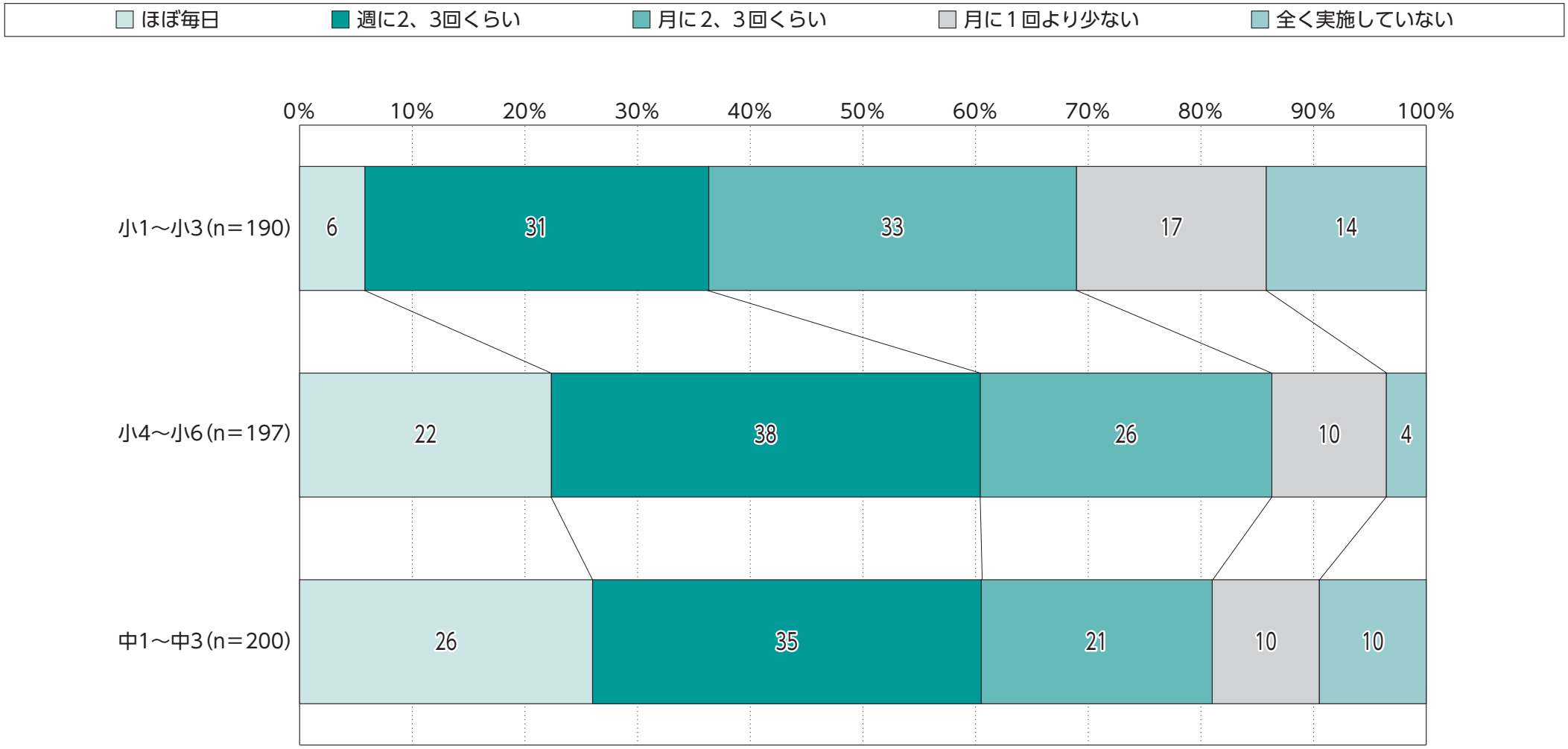
注：小中学生の保護者が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022（訪問留置）

7章 4節

資料7-40

学校の授業でのタブレット・パソコンの使用頻度[学年別]

●「週に2、3回以上使用」が小学生高学年・中学生では約6割、小学生低学年でも約4割。



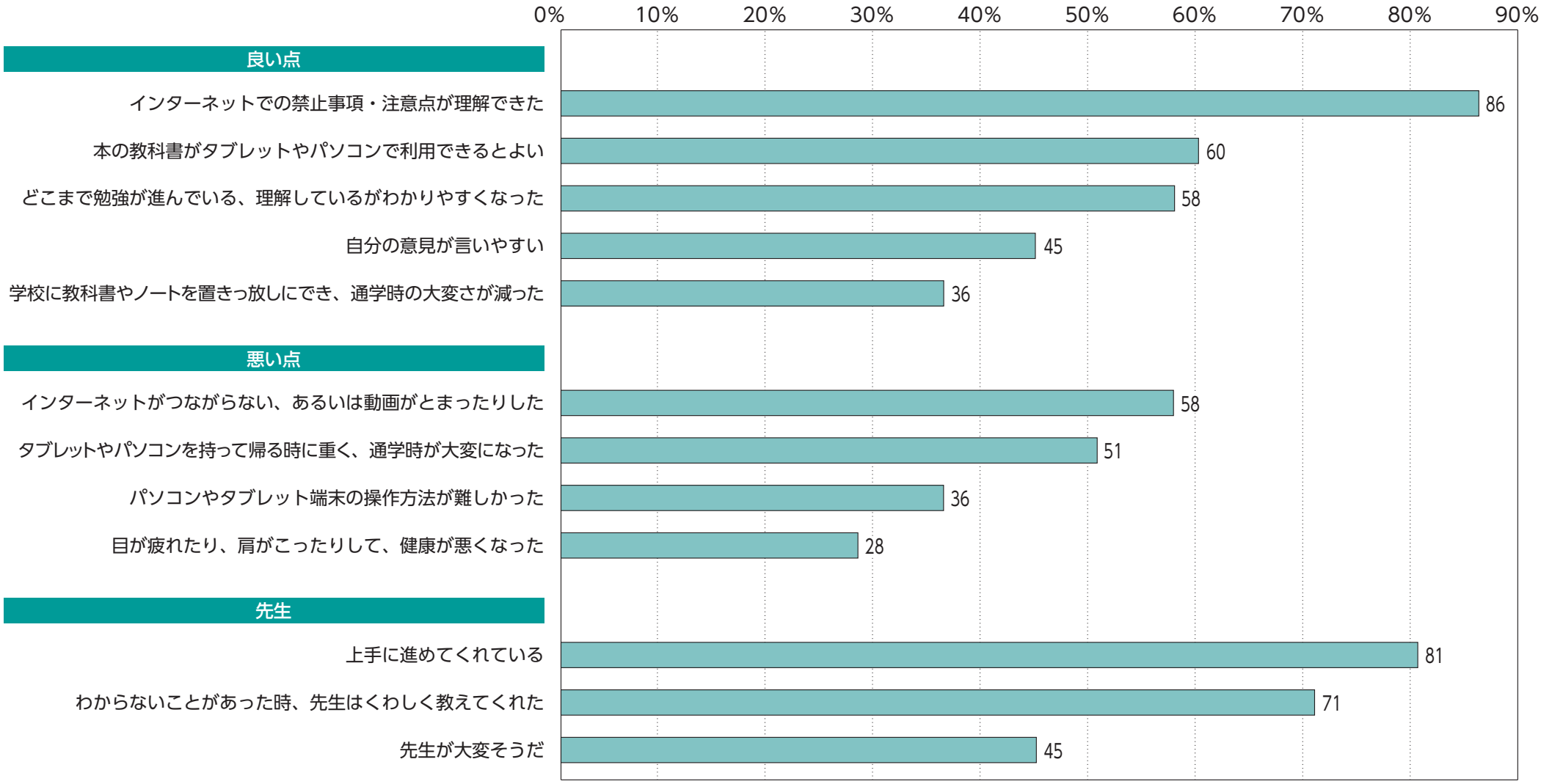
注：小中学生の保護者が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022(訪問留置)

7章 4節

資料7-41

ICT授業への評価（複数回答）

●「インターネットでの禁止事項・注意点が理解できた」が約９割。
●先生については、「上手に進めてくれている」「わからない時に詳しく教えてくれた」が７～８割と高評価。



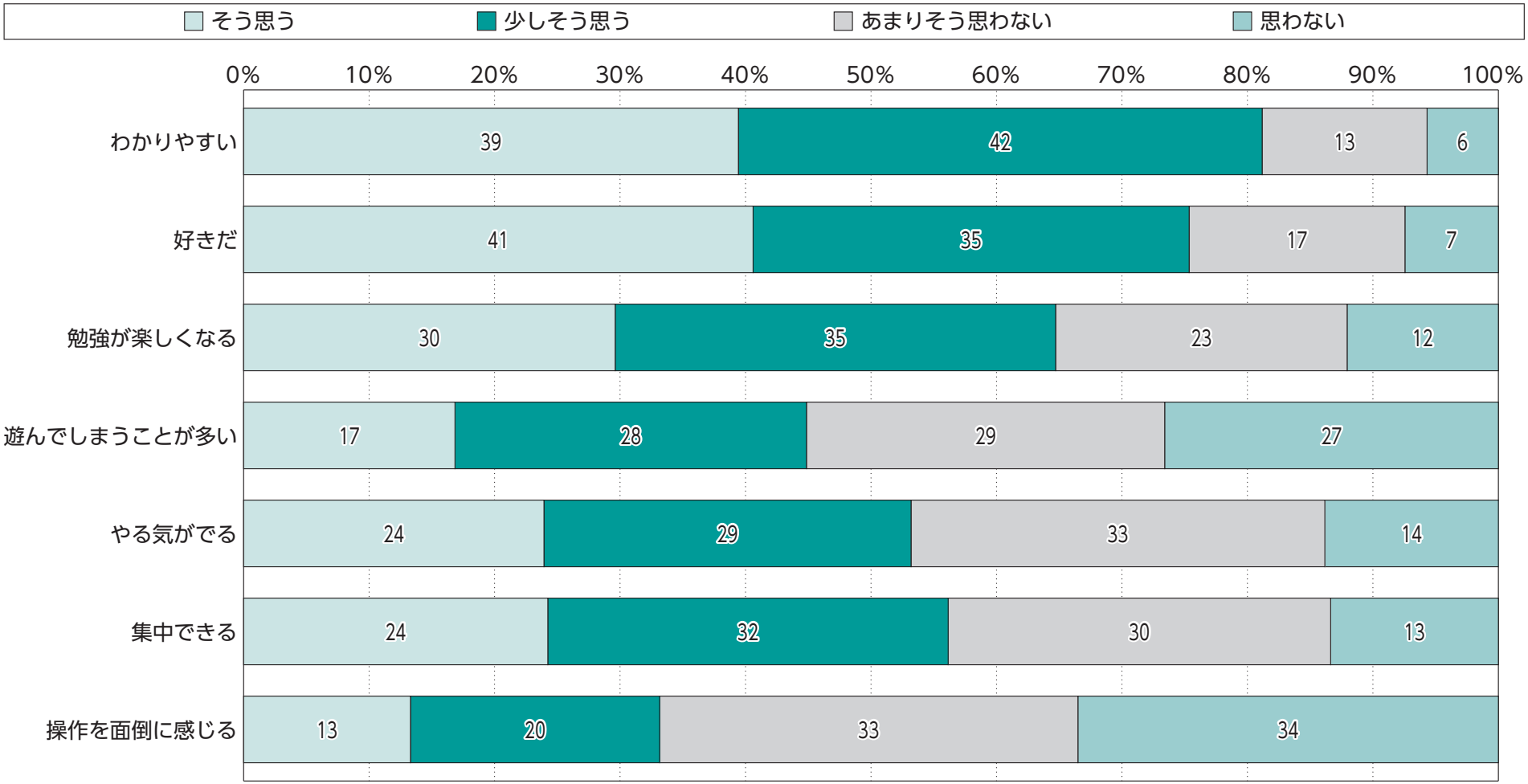
注：小中学生自身が回答。実施したことがある564名が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022（訪問留置）

7章 4節

資料7-42

ICT（パソコンやタブレット、スマホ）を使った勉強の感想

●「わかりやすい」は８割を超える。
●「操作を面倒に感じる」は約３割。



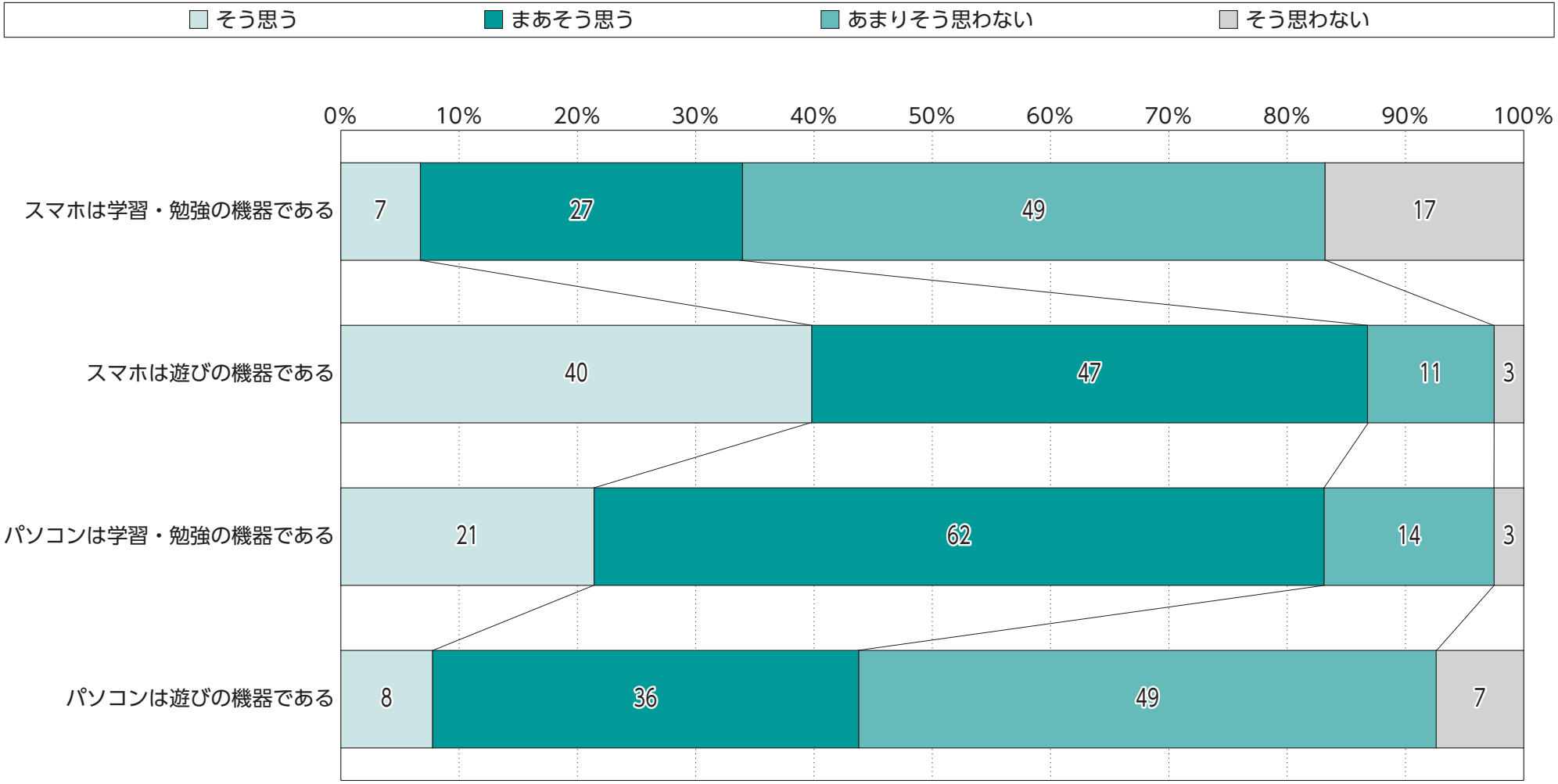
注：小中学が回答。実施したことがある564名が回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022（訪問留置）

7章 4節

子がスマホ・パソコンを使うことへの考え方

資料7-43

●スマホは「学習・勉強の機器である」は約３割、「遊びの機器である」が約９割。
●パソコンは「学習・勉強の機器である」は約８割、「遊びの機器である」は約４割。



注：小中学生の保護者が595人回答。
出典：小中学生ICT利用調査2022（訪問留置）